SONY

3-234-851-**03**(1)

ポータブル CD/DVD プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN

“ウオークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。

WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

D-VM1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

6～8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。9ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

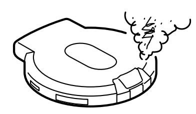
設置時や1年に1度は、ACパワーアダプターや電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプター、電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜き、充電式電池をはずす
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、モニターユニットとリモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
  モニターユニットやリモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味	記号	意味
DVD	DVDビデオで使える機能	CD	音楽用CDで使える機能
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能		知っていると便利な情報

目次

警告・注意

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

⚠警告



運転中は使用しない

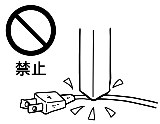
- 自動車、オートバイなどの運転をしながら、液晶画面を見たり、ヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお使いになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



➡万一、電源コードが傷んだら、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。



➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACパワーアダプターや電源プラグをコンセントから抜き、充電式電池をはずし、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

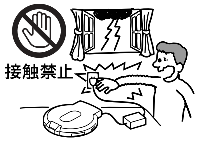
火災や感電、けがの原因となることがあります。



➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



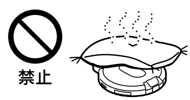
指定以外の AC パワーアダプターを使わない

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



本体やモニターユニット、AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



警告・注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⚠注意

ぬれた手で AC パワーアダプターや電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。



➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

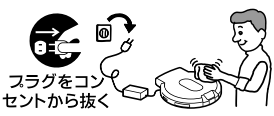
コード類は正しく配置する

AC パワーアダプターや電源コード、AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



お手入れの際、AC パワーアダプターや電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスク、ハート形などの特殊形状のディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



本機の上に重いものを乗せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

通電中の本体や AC パワーアダプター、充電中の電池に長時間触れない

長時間皮膚に触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に強い力や衝撃を加えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

禁止

液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。
充電式電池 ニカド（Ni-Cd）、ニッケル水素（Ni-MH）、リチウムイオン（Li-ion）
乾電池 アルカリ、リチウムなど

⚠危険 充電式電池（付属）について

- 指定された方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。（ショートさせる恐れがあるため）
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。

⚠警告 乾電池（リモコン用）について

- 使いきった電池は取りはずす。
- 長時間使用しないときは取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠警告 充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状がでてくることもあります。

使用上のご注意

本体の温度上昇について

- 充電中および長時間お使いになると、本体の温度が上昇しますが、故障ではありません
- 周囲の温度が非常に高いときは、保護機能が働いて、自動的に電源が切れます。この場合は、涼しい場所で約 30 分おいてから、お使いください。

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  – 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  – チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）
  – ホコリの多い所。
  – ぐらついた台の上や傾いた所。
  – 振動の多い所。
  – 風呂場など、湿気の多い所。

充電式電池について

- お買い上げ時は充電されていませんので、まず充電してください。
- 本体との接続端子部分に、ごみや砂などの異物が入らないように注意してください。
- 接続端子をネックレスなどの金属類でショート（短絡）させないでください。
- 高温になった車の中や炎天下などに放置しないでください。
- 水に濡らさないでください。

■ 充電式電池を保存するときは

充電式電池は使用しなくても時間の経過で消耗します。消耗をできるだけ防ぐために、次のように保存してください。

- ご使用後は、かならず本体から取り外してください。
- 保存する前に、本機で充電容量を使い切ってから、涼しい場所に保存してください。満充電、高温条件での保存は消耗を促進します。
- 半年に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。

■ 不要になった充電式電池を廃棄するときは

付属の充電式電池はリチウムイオン電池を使用しています。

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ **http://www.baj.or.jp/** を参照してください。

次のページへつづく ➡

結露について

本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。

結露が生じたときは、ディスクを取り出して、約 30 分放置してからお使いください。もし数時間たっても正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液晶ディスプレイについて

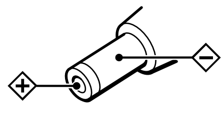
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの表面を濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。

充電について

- 付属の充電式電池は本機専用です。他機では使用できません。
- 充電中は充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電が終わったら、充電式電池を取りはずしてください。長時間付けたままにしておくと、電池の性能を劣化させることがあります。

AC パワーアダプターについて

- 本機には、付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。上記以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お手入れのしかた

■ 表面が汚れたときは

キャビネットが汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

■ モニターユニットの液晶画面が汚れたときは

柔らかい布で軽くふいてください。別売りの液晶クリーニングキット（82 ページ）をおすすめします。

■ モニターユニットおよびヘッドホンプラグのお手入れについて

常によい画像と音でお楽しみいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、画像の乱れや雑音、音切れの原因になることがあります。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
DVD ビデオ	DVD VIDEO
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
ビデオモードで記録された DVD-R、DVD-RW	
ビデオ CD 方式や音楽用 CD 方式で記録された CD-R、CD-RW	

"DVD VIDEO" ロゴは商標です。

- モニターユニットの液晶画面ではPAL方式* のビデオ CD と DVD も再生できます。
- AV 出力アダプターをお使いの場合、PAL 方式のビデオ CD も再生できます。PAL 方式の DVD は PAL 方式のテレビを接続すると再生できます。

* PAL 方式：ヨーロッパなどで使用されているカラーテレビの方式（日本は NTSC 方式）。

ご注意

DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW の中には、記録品質やディスクの物理的な状態、または記録装置の特質によって本機では再生できないものがあります。
また、ディスクが最終段階で正しく処理 (ファイナライズ）されていないと再生できないことがあります。詳しくは、記録装置の説明書をご覧ください。

地域番号（リージョンコード）について

DVD のパッケージには地域番号（79 ページ）が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

ALL　　2

DVD に表示されているマークの説明

DVD のディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。これらのマークは、ディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。ただし、機能があってもマークが表示されていない DVD もあります。

マークの例	意味
3	音声のトラック数
2	字幕の数
3	アングル数
4:3	4:3 の画面サイズで記録されている
16:9 LB	ワイドテレビではワイド画像を、4:3 のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されている
16:9 PS	ワイドテレビではワイド画像を、4:3 のテレビでは左右をカットした 4:3 の画像を楽しめるように記録されている
2	再生可能な地域番号

ディスクに関する用語の説明

タイトル

DVD に記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトではアルバム 1 枚（または 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

チャプター

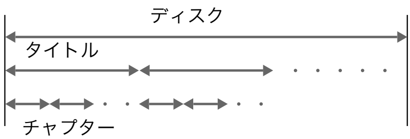
DVD に記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。１つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号

といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

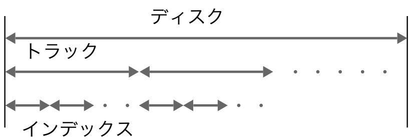
トラック

ビデオ CD や CD に記録されている映像や曲の区切り（1 曲分）をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。

■ DVD



■ ビデオ CD



インデックス（CD）/ ビデオインデックス（ビデオ CD）

ビデオ CD および CD で、再生したい部分を見つけやすいように、1 つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

シーン

PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオ CD で、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンといいます。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号といいます。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

■ DVD

- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD オーディオ
- ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-RW

■ CD

- CD-ROM（PHOTO CD を含む）
- CD-R や CD-RW（ただし、音楽用 CD 方式やビデオ CD 方式で記録された CD-R や CD-RW は再生できます）
- CD-EXTRA のデータ部分
- DTS で記録された CD*

* DTS で記録された CD を再生すると、ヘッドホン出力や AUDIO OUT 端子から大きなノイズが出ることがあります。

■ スーパーオーディオ CD

- ただしハイブリッドディスクの CD レイヤーは再生できます

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）の DVD（79 ページ）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

DVD、ビデオ CD について

- DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 同じ音量設定でもCDやビデオCDではDVDに比べ、音が大きく聞こえる場合があります。これはディスクの記録レベル（制作者の意図による）の差によるものです。音量はあらかじめ小さめに設定してください。

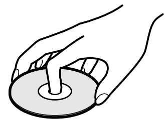
著作権について

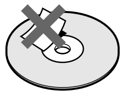
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 紙やテープを再生面に貼らないでください。



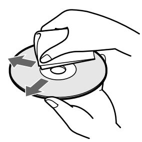


保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

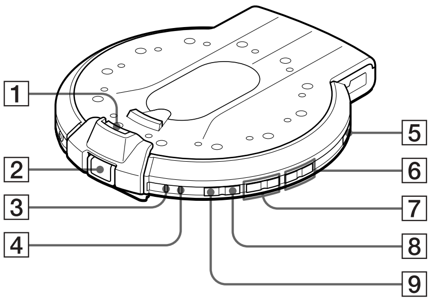


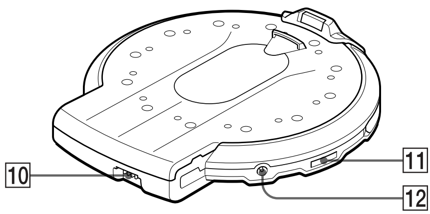
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

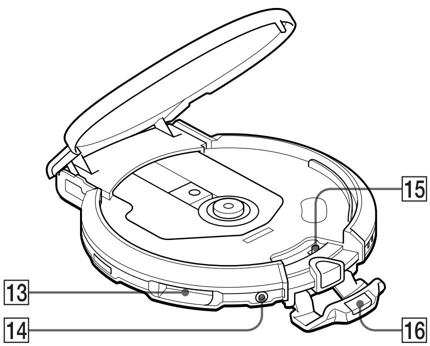
各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体







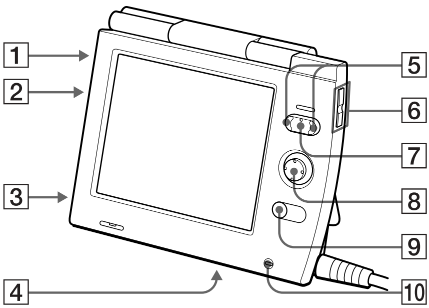
1 **OPEN つまみ（25）**
2 **🅁（リモコン受光部）（22）**
3 **CHG（充電）ランプ（23）**
4 **POWER（電源）ランプ （23）**
5 **HOLD スイッチ（56）**
6 **VOL（音量調節）+*/–（26）**
7 **⏮/⏭（前 / 次）ボタン（28）**
8 **►II*（再生 / 一時停止）ボタン（26）**
9 **■/OFF（停止 / 電源切）ボタン（26）**
10 **充電式電池接続端子（23）**
11 **A/V OUT（音声 / 映像出力）端子（57）**
12 **DC IN 10V（外部電源入力）端子（23）**
13 **MONITOR 端子（25）**
14 **🎧（ヘッドホン）端子（25）**
15 **AVLS スイッチ（55）**
16 **バックル（25）**

* VOL+ ボタンと ►II（再生 / 一時停止）ボタンには凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

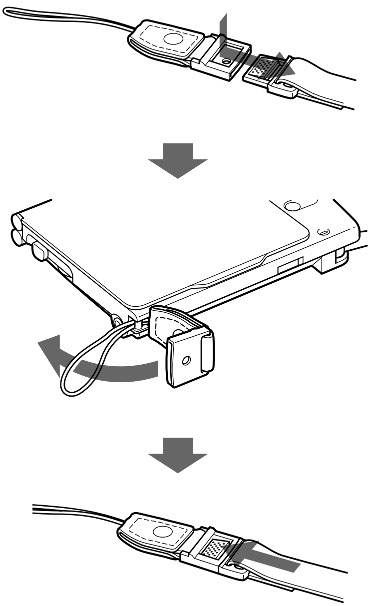
次のページへつづく ➡

モニターユニット

モニターユニットのボタンは、SHIFT ボタンを押しながら操作すると、別の働きをします。



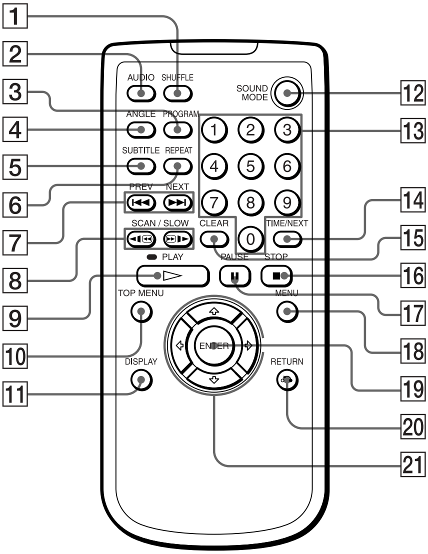
モニターユニット用ストラップ（付属）を取り付ける



1. **SHIFT ボタン（30）**
2. **BRIGHT（明るさ調節）つまみ（25）**
3. **🎧（ヘッドホン）端子（25）**
4. **HOLD スイッチ（56）**
5. **⏮/⏭（前 / 次）ボタン（28）**
   SHIFT ボタンを押しながら押した場合：
   コマ送り / スロー再生ボタン（39）
6. **VOL（音量調節）+*/– ボタン（26）**
   SHIFT ボタンを押しながら押した場合：
   +：TIME/TEXT ボタン（45）
   –：CLEAR ボタン（34）
7. **►II*（再生 / 一時停止）ボタン（26）**
   SHIFT ボタンを押しながら押した場合：
   SOUND MODE ボタン（49）
8. **◄/▲/▼/►/ENTER（決定）ボタン**
   SHIFT ボタンを押しながら押した場合：
   ◄：↶RETURN ボタン（31）
   ▲：MENU ボタン（30）
   ▼：DISPLAY(画面表示）ボタン（18）
   ►：TOP MENU ボタン（30）
   ENTER：TIMER ボタン（55）
9. **■/OFF（停止 / 電源切）ボタン（26）**
   SHIFT ボタンを押しながら押した場合：
   リジューム再生解除ボタン（29）
   PBC 再生復帰ボタン（31）
10. **POWER（電源）ランプ**

* VOL+ ボタンと ►II（再生 / 一時停止）ボタンには凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

リモコン



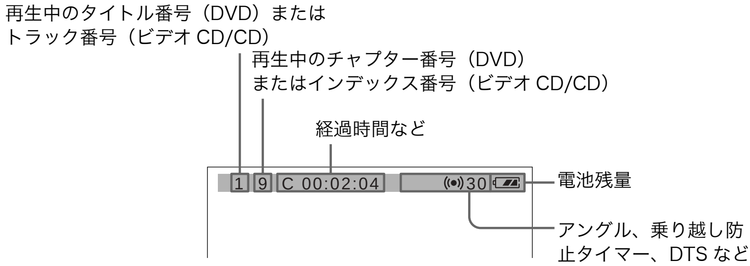
1 SHUFFLE ボタン（34）
2 AUDIO（音声）ボタン（47）
3 PROGRAM ボタン（32）
4 ANGLE ボタン（52）
5 SUBTITLE（字幕）ボタン（53）
6 REPEAT（繰り返し）ボタン（35）
7 ⏮ PREV（前）/⏭NEXT（次）ボタン（28）
8 ◀❙⏪/⏩❙▶SCAN/SLOW ボタン（39）
9 ▷PLAY（再生）ボタン（25）
10 TOP MENU ボタン（30）
11 DISPLAY（画面表示）ボタン（18）
12 SOUND MODE ボタン（49）
13 数字ボタン（42）（73）
14 TIME/TEXT（時間 / テキスト）ボタン（45）
15 CLEAR ボタン（34）
16 ■STOP（停止 / 電源切）ボタン（28）
17 ❙❙PAUSE（一時停止）ボタン（28）
18 MENU ボタン（30）
19 ENTER（決定）ボタン（30）
20 ↶RETURN ボタン（31）
21 ← / ↑ / ↓ / → ボタン（30）

メニュー画面の見かた（状態表示 / コントロールメニュー）

ここでは、状態表示画面とコントロールメニュー画面について説明します。
詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

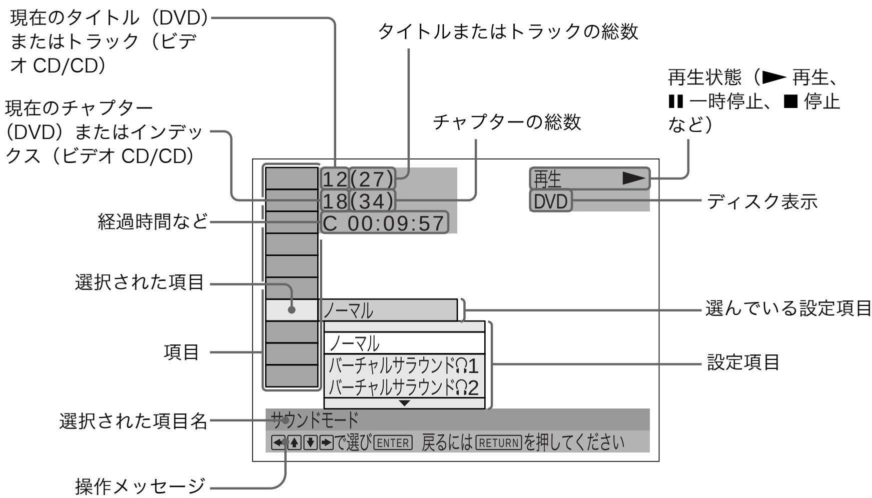
状態表示画面

SHIFT ボタンを押しながら ▼（DISPLAY ボタン）を押すと表示されます。



コントロールメニュー画面

SHIFT ボタンを押しながら ▼（DISPLAY ボタン）を繰り返し押すと表示されます。



コントロールメニュー画面項目一覧表

タイトル / シーン / トラック（40 ページ）	再生するタイトル（DVD）やシーン（PBC 再生時のビデオ CD）、トラック（ビデオ CD）を選びます。
チャプター / インデックス（40 ページ）	再生するチャプター（DVD）やインデックス（ビデオ CD）を選びます。
トラック（40 ページ）	再生するトラックを選びます。
インデックス（40 ページ）	再生するインデックスを選びます。
時間 / テキスト（45 ページ）	経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。
音声（47 ページ）	音声を切り換えます。 DVD の場合は、音声記録方式が表示されます。
字幕（53 ページ）	字幕を表示します。 字幕の言語を切り換えます。
アングル（52 ページ）	アングルを切り換えます。
サウンドモード（49 ページ）	音響効果（バーチャルサラウンド、MEGABASS）を選びます。
リピート（35 ページ）	ディスク全体（全タイトル / 全トラック）または一つのタイトル / チャプター / トラックだけを繰り返し再生します。
A-B リピート（37 ページ）	再生したい部分を指定して、繰り返し再生します。
設定	クイック設定（65 ページ） 接続したテレビに合わせて TV タイプを設定します。 カスタム設定（69 ページ） DVD 再生時の字幕言語やメニューの表示言語、音声デジタル出力、視聴年齢制限などを設定します。
プログラム（32 ページ）	タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生します。
シャッフル（34 ページ）	タイトルやチャプター、トラックをランダム（無作為）な順番で再生します。
アングルビューアー（43 ページ）	記録されているアングルを 9 分割画面に一度に表示します。
タイトルビューアー（42 ページ）	記録されているタイトルを 9 分割画面に一度に表示します。
チャプタービューアー（42 ページ）	記録されているチャプターを 9 分割画面に一度に表示します。
トラックビューアー（42 ページ）	記録されているトラックを 9 分割画面に一度に表示します。
ストロボ再生（44 ページ）	連続した 9 つの画面を一度に表示します。

次のページへつづく ➡

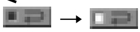
表示を切り換えるには

SHIFT ボタンを押しながら、▼（DISPLAY ボタン）を繰り返し押します。

→ 状態表示画面
↓
コントロールメニュー画面 1
↓
コントロールメニュー画面 2
（上から 3 つまでの項目以外が他の項目に変わります）
↓
表示 切

ディスクにより項目が異なります。

コントロールメニューアイコンは、その項目の機能が働いているときに緑色に点灯します。



ただし、「アングルビューアー」と「アングル」では、アングルを選べるときにコントロールメニューアイコンが緑色に点灯します。

前の項目に戻る

SHIFT ボタンを押しながら、◀（RETURN ボタン）を押します。

確定する

ENTER(決定）ボタンを押します。

状態表示 / コントロールメニュー画面を消す

SHIFT ボタンを押しながら、▼（DISPLAY ボタン）を繰り返し押します。

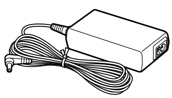
はじめに

ここでは、ディスクを再生するまでの接続と操作について説明します。本機の性能を充分にお楽しみになるには「再生する」（29 ページ）以降をご覧ください。本機をテレビやスピーカーにつないでお楽しみになるときは、「他の機器と使う」（57 ページ）をご覧ください。

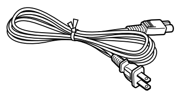
手順 1：付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。

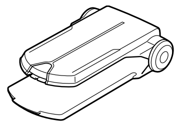
AC パワーアダプター（1）



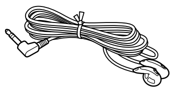
電源コード（1）



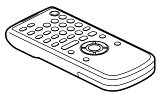
充電式電池 LIP-30
（Rechargeable battery）（1）



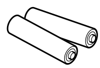
ヘッドホン（1）



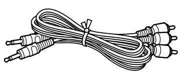
リモコン（1）



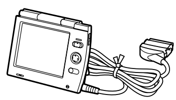
単 3 形乾電池（R6）（2）



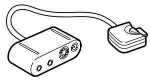
映像音声コード（ミニプラグ×2 ⟷ ピンプラグ× 3）（1）



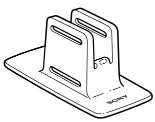
モニターユニット（1）



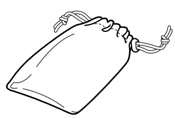
AV 出力アダプター（1）



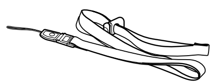
スタンド（1）



キャリングポーチ（1）



モニターユニット用ストラップ（1）



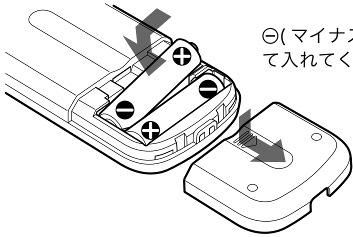
ソニーご相談窓口のご案内（1）
保証書（1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

次のページへつづく ➡

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単３形乾電池（R6、付属）２個を入れてください。
本体を操作するときは、本体のリモコン受光部 🅁 にリモコンを向けて操作してください。

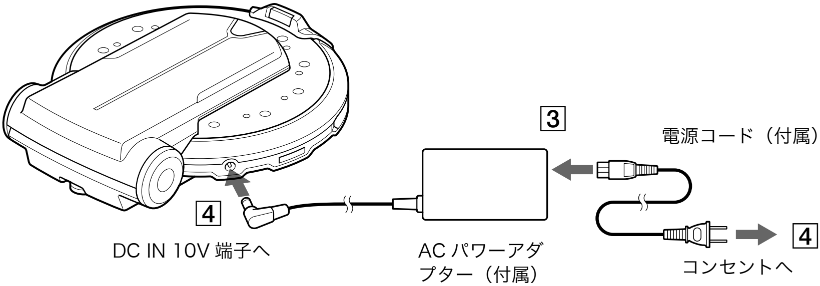


ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。
  次のことを必ず守ってください。
  —新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  —乾電池は充電しないでください。
  —長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  —液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 🅁 に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

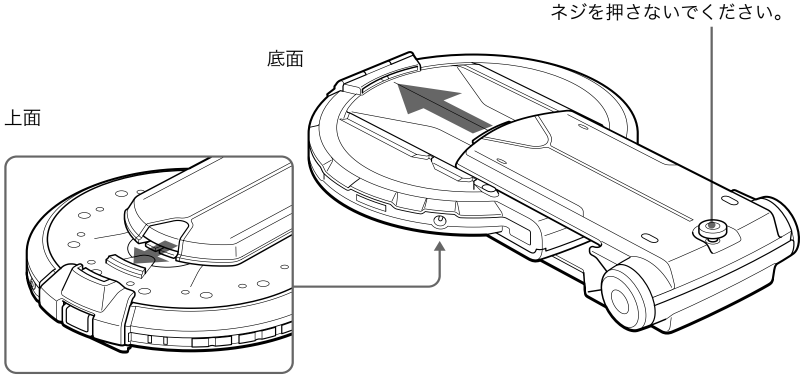
手順 2：電源を準備する

付属の充電式電池を充電してください。



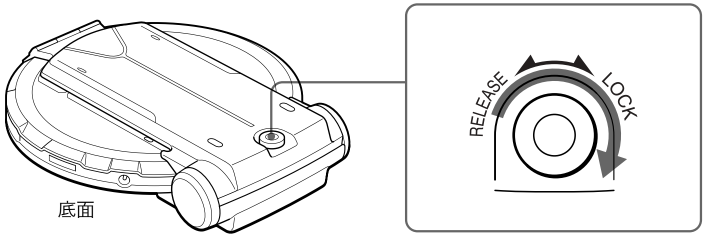
1 充電式電池で本体をはさみ、本体に差し込む。

止まるまで押してください。このとき、電池先端が本体の底面と上面の保持部に乗り上げないように差し込んでください。



2 ネジ止めする。

指で押しながら回してください。



次のページへつづく ➡

3 電源コードを AC パワーアダプターにつなぐ。

4 AC パワーアダプターを本体に、電源コードのプラグをコンセントにつなぐ。

充電が始まります。CHG ランプが点灯します。約２時間充電すると、約２時間使えます。
約６時間で充電が完了し、CHG ランプが消えます。

5 AC パワーアダプターをはずす。

充電式電池の持続時間

モニターユニット使用時	約４時間
モニターユニットのカバーを閉じた場合	約５時間

DVD 再生時、サウンドモードは「ノーマル」、BRIGHT つまみを最小に設定した測定値です。
電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態などにより、異なることがあります。

充電式電池が消耗すると

自動的に状態表示画面が表れ、マークが点滅し、数分後に電源が切れます。
電源が切れると、ヘッドホンからピピピピという音が鳴り、本体とモニターユニットの POWER ランプが赤く点滅します。

充電式電池の残量を確認する

状態表示画面で確認できます。
が点滅したら、AC 電源につないで充電してください。

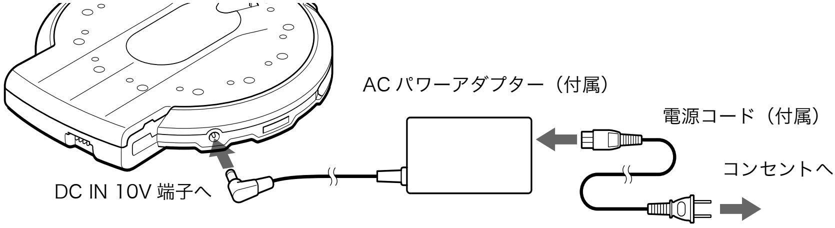
ご注意

- 充電中に ►II（リモコンは ▷）を押すと、充電は中断され再生が始まります。本機の電源を切ると再開します。
- 本機および充電式電池の接続端子にさわらないでください。故障の原因になることがあります。
- の中の部分は残量のめやすを表しています。１つが３分の１を示しているわけではありません。

充電式電池の劣化を防ぐために、長時間使用しない場合は、いったん使い切ってから、涼しい場所に保管してください。半年に１回程度は充電して使用してください。

AC パワーアダプターで使う

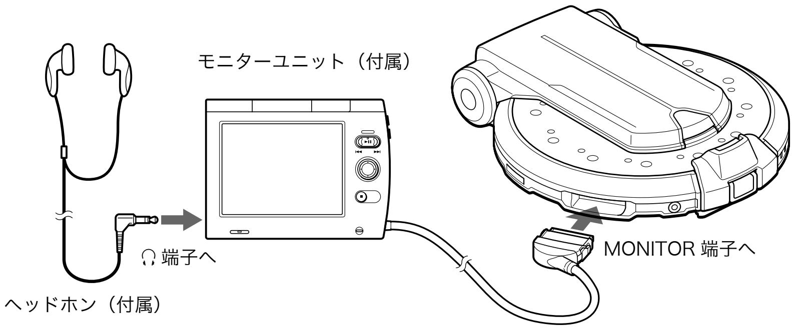
充電式電池をはずしてからお使いください。
電源コードはすべての接続が終わってから差し込んでください。



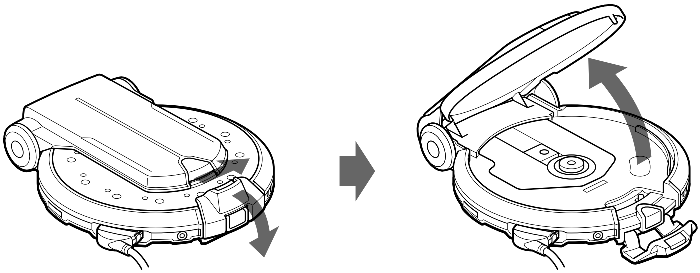
手順３：ディスクを再生する

1 **電源を切った状態で、本体にモニターユニットをつなぎ、ヘッドホンをモニターユニットにしっかりつなぐ。**

ヘッドホンは、本体の 🎧 端子につなぐこともできます。モニターユニットと本体の両方につないで、２人で一緒に聞くこともできます。



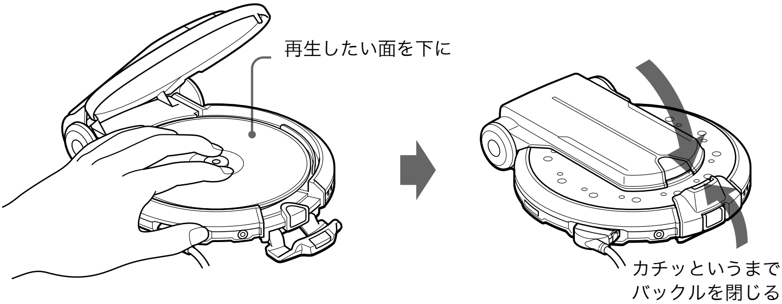
2 **OPEN つまみをスライドさせて、ふたを開ける。**



次のページへつづく ➡

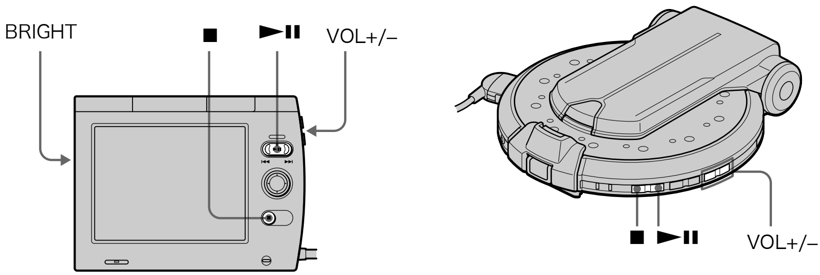
3 ディスクを入れ、ふたを閉める。

再生したい面を下にして入れます。
ディスクの中央を指で押して、カチッと音がするまで確実にはめ込みます。



4 ►II を押す。

再生が始まります。
画面の明るさは、BRIGHT つまみを回して調節します。
音量は、VOL +/– ボタンを押して調節します。



ディスクによっては

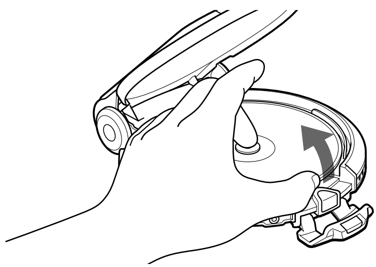
モニターの液晶画面にメニューが表示されることがあります。そのときは表示されたメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。DVD（30 ページ）ビデオ CD（31 ページ）

再生を止めるには

■ を押す。

ディスクを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげます。



💡 いったん再生状態にしてから、■ ボタンを押して停止すると、約３分間、電源入の状態になります（POWER ランプが緑色に点灯)。この間に、ディスクを入れ換えたりしてふたを閉めると、自動的に再生が始まります。

電源を切るには

POWER ランプが消えるまで ■ を押し続けます。
電源が入っているときに、充電式電池をはずしたり、電源コードを抜いたりしないでください。設定内容が解除されることがあります。■ を押して再生を停止させて電源を切ってください。

ご注意

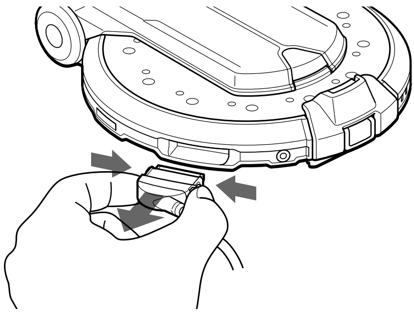
充電式電池でお使いの場合、リモコンで電源切状態から再生することはできません。本体またはモニターユニットの ►II を押して再生してください。

💡 停止状態で３分間操作しないと、自動的に電源切になります。（オートパワーオフ）

💡 一時停止やメニュー画面（静止画のみ）などのとき（POWER ランプが緑色で点滅しているとき)、15 分間操作しないと自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ）

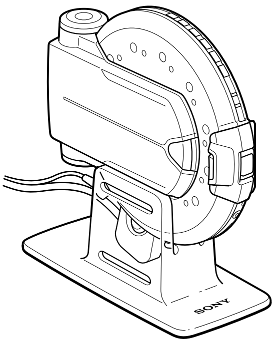
モニターユニットをはずすには

プラグの横のつまみ（2ヵ所）を押しながら、はずします。



スタンドを使うには

本体は、付属のスタンドに立てることができます。下図の向きに置きます。

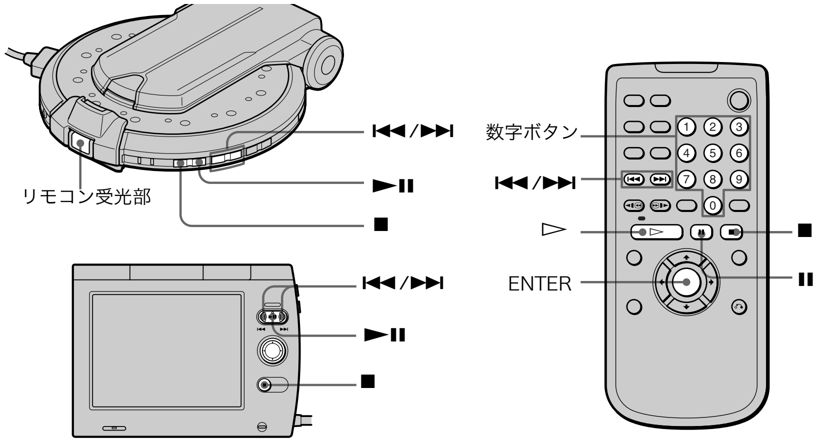


ご注意

本体の転倒、落下がないよう、安定した場所に設置してください。

次のページへつづく ➡

いろいろな操作方法



こんなときは	このボタンを押す			POWER ランプ
	本体	モニターユニット	リモコン	
止める	■	■	■	点灯（3分後に消灯）
一時停止する	▶II	▶II	II	点滅
一時停止したあと、つづきを再生する	▶II	▶II	▷	点灯
再生中にチャプターや映像、曲を進める	⏭ を短く押す＊	⏭ を短く押す＊	⏭	点灯
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	⏮ を短く押す＊	⏮ を短く押す＊	⏮	点灯

＊ 押し続けると、押している間、早送り / 早戻しします。

リモコンの数字ボタンを使う

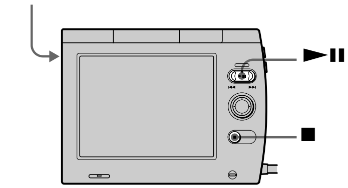
DVD では指定したチャプターの再生、CD では指定したトラックの再生をするときに便利です。数字ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。

CD を再生中、15 分間操作をしないと

スクリーンセーバー画面に切り換わります。何らかの操作を行うと、スクリーンセーバー画面は消えます。

再生を止めたところから再生する（リジューム再生）DVD VIDEO CD CD

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。ディスクを取り出さない限り、電源を切ってもリジューム再生が働きます。



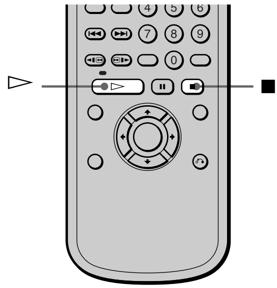
1 ディスクの再生中、■ を押して、再生を止める。

「次に再生するときは今のつづきから再生します」というメッセージが出ます。このメッセージが表示されないときはリジューム再生はできません。

2 ►II を押す。

手順 1 で再生を止めたところから、再生が始まります。

リモコンを使う場合は



1 ■ を押す。

2 ▷ を押す。

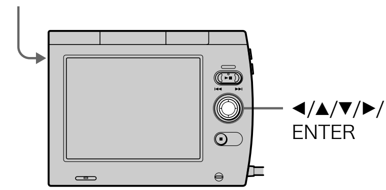
ディスクを最初から再生したいときは、停止状態のときに SHIFT ボタンを押しながら ■ を押します。いったんバックルを開けて、もう一度閉めてから再生を始めても、ディスクを最初から再生することができます。

ご注意

- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、リジューム再生できないことがあります。
  —充電式電池や AC パワーアダプターをはずしたとき
  —再生モードを変えたとき
  —設定画面で設定を変更したとき
  —AV 出力アダプターを抜き差ししたとき

DVD のメニューを使う DVD

DVD には、DVD 独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されている DVD を再生するときは、トップメニューボタンを使って、好きなタイトルを選べます。ディスクの内容をメニューで選択できる DVD を再生するときは、再生したい項目や、字幕の言語、音声の言語などをメニューボタンで選べます。



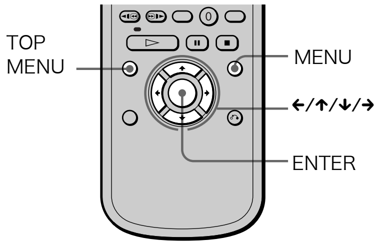
1 SHIFT ボタンを押しながら、▶（TOP MENU）または▲（MENU）を押す。

ディスクのメニューが表示されます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ◀ / ▲ / ▼ / ▶ で選ぶ。

3 ENTER ボタンを押す。

リモコンを使う場合は



1 TOP MENU ボタンまたは MENU ボタンを押す。

2 ←/↑/↓/→ で選ぶ。

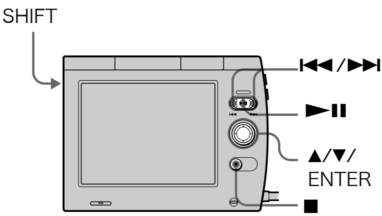
3 ENTER ボタンを押す。

ディスクによっては、自動的にメニュー画面が表示されるものがあります。

プレイバックコントロール機能を使う

（PBC 再生）VIDEO CD

プレイバック　コントロール
PBC（Playback Control）機能を使って、対話型の操作や検索などができます。
PBC 再生とは、テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生を進めていくことです。



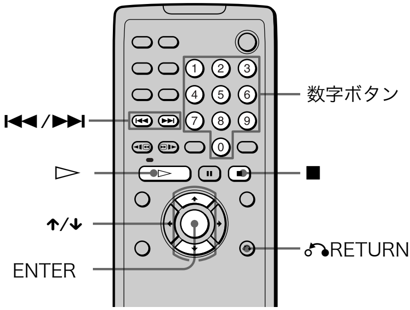
1 **PBC 対応ビデオ CD を再生する。**
選択用のメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を ▲ / ▼ で選ぶ。**

3 **ENTER ボタンを押す。**

4 **テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。**
操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

リモコンを使う場合は



1 PBC 対応ビデオ CD を再生する。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を ↑/↓ または数字ボタンで選ぶ。

3 ENTER ボタンを押す。

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。

選択用のメニュー画面に戻るには

SHIFT ボタンを押しながら、◄ を押します。リモコンでは RETURN ボタンを押します。

PBC 機能を切って再生するときは

停止中、⏮ や ⏭ を押して再生したいトラックを選んでから、►II（▷）または ENTER ボタンを押します。画面上に「PBC を切って再生します」が表示され、通常の再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

PBC 再生に戻すには、停止状態のときに SHIFT ボタンを押しながら ■ を押します。いったんバックルを開けて、もう一度閉めてから再生を始めても、PBC 再生に戻ることができます。

ご注意

ディスクによっては手順 3 で ENTER ボタンを押すことを「▷（SELECT）ボタンを押す」や「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。その場合も ENTER ボタンを押してください。

再生モードを使う
(プログラム / シャッフル / リピート /A-B リピート)

DVD　VIDEO CD　CD

再生モードには次の種類があります。

- プログラム再生（32 ページ）
- シャッフル再生（34 ページ）
- リピート再生（35 ページ）
- A-B リピート再生（37 ページ）

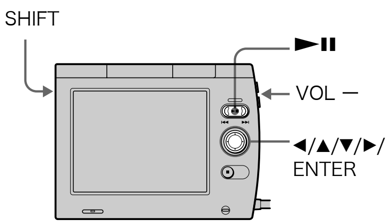
再生モードを設定しているときは、電源を入れたときに設定されている内容が画面に表示されます。

ご注意

- 設定した再生モードは、バックルを開ける、または電源（充電式電池や AC パワーアダプター）をはずすと解除されます。
- PBC 対応ビデオ CD でプログラム再生、シャッフル再生、リピート再生を設定する場合は、PBC 機能を切ってください（31 ページ）。

好きな順に再生する（プログラム再生）

タイトルやチャプター、トラックを好きな順に再生できます。最大 99 個のタイトルやチャプター、トラックをプログラムできます。

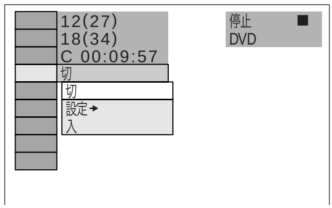


1 停止中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を DVD の場合は 3 回、CD やビデオ CD の場合は 2 回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

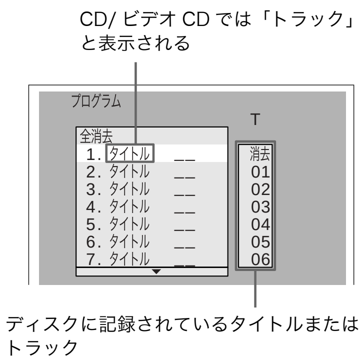
2 ▲/▼ で PGM「プログラム」を選び、ENTER ボタンを押す。

「プログラム」の設定項目が表示されます。



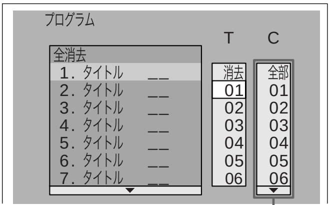
3 ▲/▼ で「設定 →」を選び、ENTER ボタンを押す。

プログラム設定画面が表示されます。



4 ▶ を押す。

DVD ではタイトルが、CD ではトラックが選べるようになります。



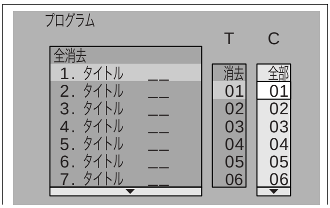
選んだタイトルの中のチャプター

5 プログラム再生したいタイトル・チャプターまたはトラックを設定する。

■ DVD のとき

例）タイトル「02」のチャプター「03」を設定する。

▲/▼ で「T」の「02」を選び、ENTER ボタンを押します。



次に ▲/▼ で「C」の「03」を選び、ENTER ボタンを押します。

設定されたタイトル・チャプター

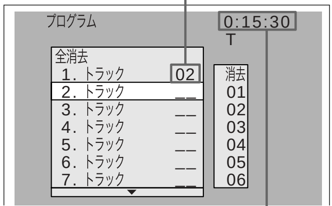


■ CD/ ビデオ CD のとき

例）トラック「02」を設定する。

▲/▼ で「T」の「02」を選び、ENTER ボタンを押します。

設定されたトラック



プログラムしたトラックの総時間

6 続けて再生するタイトル・チャプターまたはトラックを設定したいときは、手順 4 〜 5 を繰り返す。

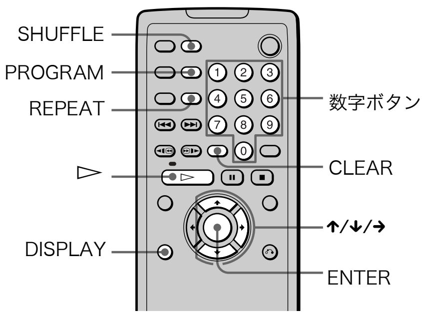
タイトル・チャプターまたはトラックが選んだ順に表示されます。

7 ▶II を押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生が終わっても、▶II を押せば同じプログラムを再生します。

リモコンを使う場合は



1 停止中に PROGRAM ボタンを押す。

次のページへつづく ➡

2 モニターユニットで操作する場合の手順４から６を行う。

▲/▼/▶ の代わりに ↑/↓/→ を使います。また、数字ボタンでタイトルやチャプター、トラックを選ぶことができます。

3 ▷ を押す。

💡 リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。

通常の再生に戻すには

SHIFT ボタンを押しながら VOL – ボタン（リモコンでは CLEAR ボタン）を押します。
または手順３で「切」を選びます。
もう一度同じプログラムを再生するには、手順３で「入」を選び、►II（リモコンでは▷）を押します。

プログラムの設定を変更するには

1 「好きな順に再生する（プログラム再生）」の手順１～３を行う。

2 ▲ / ▼ を使って変更したいタイトル、チャプター、トラックのプログラム番号を選び、▶ を押す。

3 手順５の操作で新しい設定を入力する。
プログラムを取り消すときは、「T」の下にある「消去」を選び、ENTER ボタンを押す。

設定したプログラムを消すには

1 「好きな順に再生する（プログラム再生）」の手順１～３を行う。

2 ▲ を押し、「全消去」を選ぶ。

3 ENTER ボタンを押す。

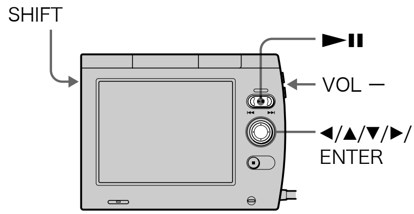
💡 設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます。コントロールメニュー画面で「リピート」、「シャッフル」を「入」にします。
リモコンを使う場合は、それぞれ REPEAT ボタン、SHUFFLE ボタンを押します。

ご注意

タイトル / チャプター / トラックはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。

順不同に再生する（シャッフル再生）

ディスクに記録された順番に関係なく、本機が自動的にタイトルやチャプター、トラックの順番を選んで、再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。

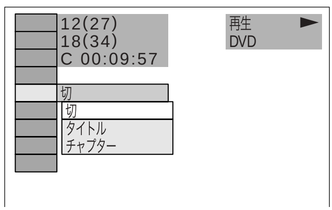


1 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を DVD 再生中は３回、CD やビデオ CD 再生中は２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で 「シャッフル」を選び、ENTER ボタンを押す。

「シャッフル」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼ で項目を選ぶ。

■ **DVD のとき**

- タイトル：タイトルを順不同にして再生します。
- チャプター：チャプターを順不同にして再生します。

■ **ビデオ CD / CD のとき**

- トラック：トラックを順不同にして再生します。

■ **プログラム再生しているとき**

- 入：プログラムしたタイトル、チャプターまたはトラックを順不同にして再生します。

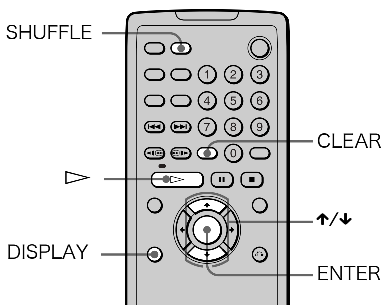
4 再生中の場合は、ENTER ボタンを押す。

停止中の場合は、ENTER ボタンを押したあと ►II を押す。

シャッフル再生が始まります。

5 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を押して、コントロールメニュー画面を消す。

リモコンを使う場合は



SHUFFLE ボタンを押します。SHUFFLE ボタンを繰り返し押して項目を選びます。停止中の場合は、その後 ▷ を押します。シャッフル再生が始まります。

💡 リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。▲/▼の代わりに ↑/↓ を使います。

通常の再生に戻すには

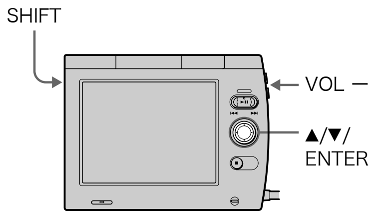
SHIFT ボタンを押しながら VOL – ボタン（リモコンでは CLEAR ボタン）を押します。または、手順 3 で「切」を選びます。

ご注意

「チャプター」を選んだとき、ディスク中の 200 のチャプターまでシャッフル再生できます。

繰り返し再生する（リピート再生）

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または 1 つのタイトル / チャプター / トラックを繰り返し再生できます。
シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせて使うこともできます。



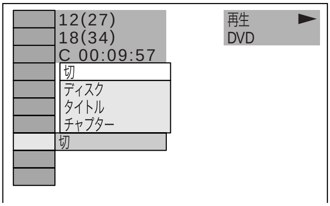
1 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

次のページへつづく ➡

2 ▲/▼ で 「リピート」を選び、ENTER ボタンを押す。

「リピート」の設定項目が出ます。



3 ▲/▼ で項目を選ぶ。

■ DVD のとき

- ディスク：すべてのタイトルを繰り返し再生します。
- タイトル：再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- チャプター：再生中のチャプターを繰り返し再生します。

■ ビデオ CD / CD のとき

- ディスク：すべてのトラックを繰り返し再生します。
- トラック：再生中のトラックを繰り返し再生します。

■ プログラム再生やシャッフル再生をしているとき

- 入：プログラム再生、シャッフル再生を繰り返し再生します。

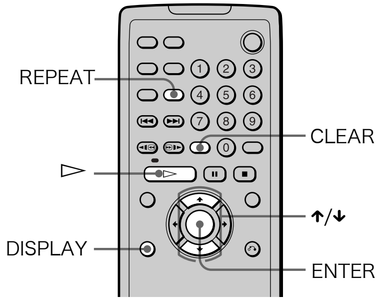
4 再生中の場合は、ENTER ボタンを押す。

停止中の場合は、ENTER ボタンを押したあと ►II を押す。

リピート再生が始まります。

5 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を（DVD のときは 2 回）押して、コントロールメニュー画面を消す。

リモコンを使う場合は



REPEAT ボタンを押します。REPEAT ボタンで項目を選びます。停止中の場合は、その後 ▷ を押します。リピート再生が始まります。

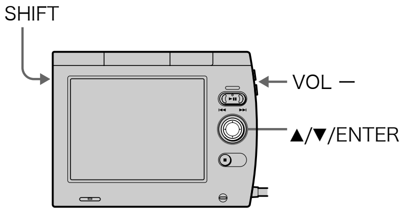
リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。▲/▼の代わりに ↑/↓ を使います。

通常の再生に戻すには

SHIFT ボタンを押しながら VOL – ボタン（リモコンでは CLEAR ボタン）を押します。または、手順 3 で「切」を選びます。

再生したい部分だけを繰り返す（A-B リピート）

再生したい部分を指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

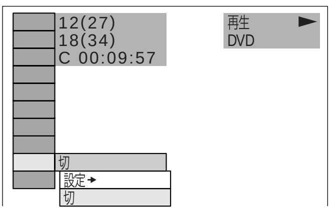


1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

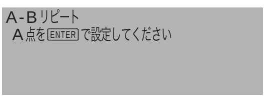
2 ▲/▼ で 「A-B リピート」を選び、ENTER ボタンを押す。

「A-B リピート」の設定項目が表示されます。



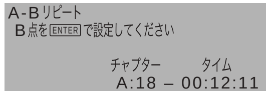
3 ▲/▼ で「設定 →」を選び、ENTER ボタンを押す。

A-B リピート設定画面が表示されます。



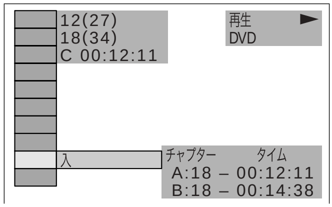
4 繰り返す部分の始点（A 点）で、ENTER ボタンを押す。

始点（A 点）が設定されます。



5 繰り返す部分の終点（B 点）で、ENTER ボタンを押す。

指定した部分が表示され、指定した部分を繰り返し始めます。



A、B 点を設定する際、スローやコマ送り（39 ページ）（モニターユニットのみ）を使うと便利です。

6 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を（DVD のときは 2 回）押して、コントロールメニュー画面を消す。

次のページへつづく ➡

リモコンを使う場合は



リモコンの DISPLAY ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させます。
▲/▼ の代わりに ↑/↓ を使います。
DISPLAY ボタンを（DVD のときは 2 回）押してコントロール画面を消します。

通常の再生に戻すには

SHIFT ボタンを押しながら VOL – ボタン（リモコンでは CLEAR ボタン）を押します。
または、手順３で「切」を選びます。

ご注意

- A-B リピートが設定できるのは 1 か所のみです。
- A-B リピートを設定すると、シャッフル再生やリピート再生、プログラム再生は解除されます。

見たいところ、聞きたいところをさがす

（早送り / 早戻し / スロー再生）

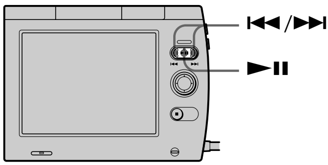
DVD VIDEO CD CD

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、スロー再生をすることができます。

ご注意

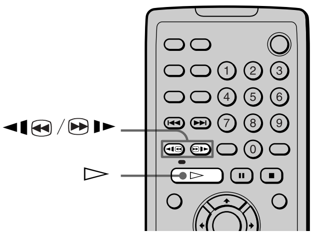
DVD、ビデオ CD によっては操作が禁止されている場合があります。

早送り / 早戻しをして見たいところ、聞きたいところをさがす（スキャン）



再生中に早送りするには ⏭ を、早戻しをするには ⏮ を押し続けます。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。
早送り / 早戻しの速さは一定です。

リモコンを使う場合は



再生中に早送りするには⏩I► を、早戻しをするには◄I⏪ を押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スキャン中に◄I⏪ または⏩I► を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。3 種類の速さを選ぶことができます。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

再生方向

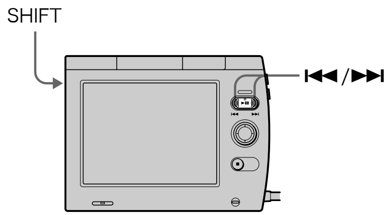
×2► （DVD/CD のみ）→ 1►► → 2►►

逆方向

×2◄ （DVD のみ）→ 1◄◄ → 2◄◄

「×2◄」/「×2►」は通常の約 2 倍の速度で再生します。
「1◄◄」/「1►►」より、「2◄◄」/「2►►」のほうが、高速で再生します。

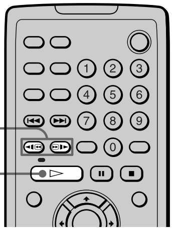
スロー再生をする DVD VIDEO CD



SHIFT ボタンを押しながら、⏮ または ⏭ を押し続けます。ボタンを離すと通常の再生に戻ります。
スロー再生の速さは一定です。

次のページへつづく ➡

リモコンを使う場合は



一時停止中に◄▮⏪ または⏩▮► を押します。
▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生中、◄▮⏪ または⏩▮► を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。2 種類の速さを選ぶことができます。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

再生方向
2▮► ←→ 1▮►

逆方向（DVD のみ）
2◄▮ ←→ 1◄▮

「1◄▮」/「1▮►」より「2◄▮」/「2▮►」のほうが、低速で再生します。

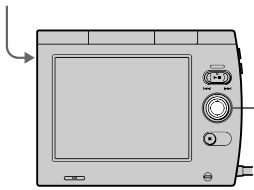
コマ送りで見る DVD VIDEO CD

モニターユニットで操作します。
SHIFT ボタンを押しながら、再生方向は ►►I、逆方向（DVD のみ）は I◄◄ を押します。押すたびに 1 コマずつ送り、戻しします。

タイトルやチャプターの頭出しをする

DVD　VIDEO CD　CD

DVD のタイトルまたはチャプター、ビデオ CD や CD のトラックまたはインデックス、シーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。



1 SHIFT ボタンを押しながら、▼を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で検索項目を選ぶ。

■ DVD のとき

「タイトル」または
「チャプター」

■ ビデオ CD のとき

「トラック」または
「インデックス」

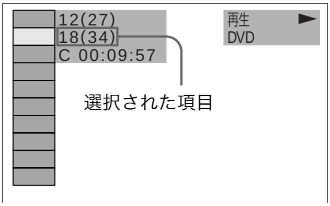
■ ビデオCDをPBC再生をしているとき

「シーン」

■ CD のとき

「トラック」または 「インデックス」

例）　「チャプター」を選んだとき
「＊＊（＊＊）」が選ばれます（＊＊は任意の数字）。
カッコ内の数字はタイトルまたはチャプター、トラック、シーンの総数です。



3 ENTER ボタンを押す。

「＊＊（＊＊）」が「−−（＊＊）」に変わります。



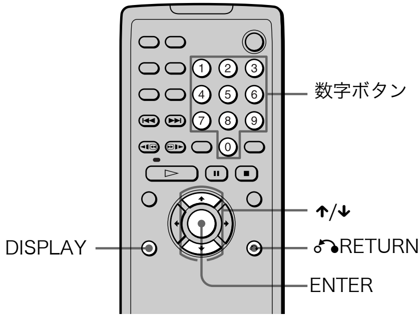
4 ▲/▼ でタイトルやトラック、シーンなどの番号を選ぶ。

5 ENTER ボタンを押す。

選んだ場所の再生が始まります。

6 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を（DVD のときは 2 回）押して、コントロールメニュー画面を消す。

リモコンを使う場合は



リモコンの DISPLAY ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させせます。
▲/▼ の代わりに ↑/↓ を使います。また、数字ボタンでタイトルやトラック、シーンなどを選ぶこともできます。
DISPLAY ボタンを（DVD のときは 2 回）押してコントロール画面を消します。

9 つに分割された画面でタイトルやチャプター、トラックの最初のシーンを表示できます。選択したシーンから直接再生を始められます。詳しくは、42 ページの「見たい場面を再生する（ビューアー）」をご覧ください。

ご注意

タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。

次のページへつづく ➡

タイムコードを使って頭出しをする（DVD のみ）

リモコンで操作します。
タイトルの経過時間をタイムコードで入力して頭出しすることができます。

1 手順２で 「時間/テキスト」を選び、ENTER ボタンを押す。

「T ＊＊：＊＊：＊＊」が「T ーー：ーー：ーー」に変わります。

2 数字ボタンでタイムコードを入力し、ENTER ボタンを押す。

たとえば、始まりから 2 時間 10 分 20 秒過ぎた場面を頭出ししするには、21020 と入力します。
選んだ場所の再生が始まります。

見たい場面を再生する（ビューアー） DVD VIDEO CD

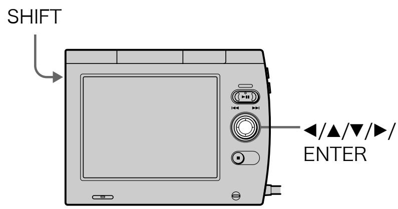
9 つに分割された画面でタイトルやチャプター、トラックの最初のシーンを表示できます。選択したシーンから直接再生を始められます。

ご注意

- ディスクによっては、各機能をお楽しみいただけない場合があります。
- 各ビューアーで一覧表示しているときは音声が出ません。

タイトルやチャプター、トラックを一覧で見る DVD VIDEO CD

画面を９分割してディスクに含まれる各タイトル、チャプター、トラックの最初の画像を見ることができます。選んだタイトル、チャプター、トラックから再生することができます。



1 SHIFT ボタンを押しながら、▼を３回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で項目を選ぶ。

■ **DVD のとき**

「タイトルビューアー」

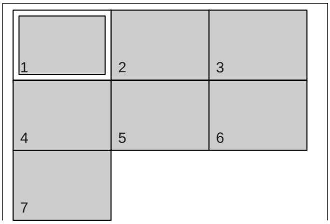
「チャプタービューアー」

■ **ビデオ CD のとき**

「トラックビューアー」

3 ENTER ボタンを押す。

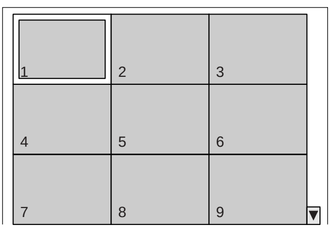
タイトル、チャプターなどの最初の場面が表示されます。



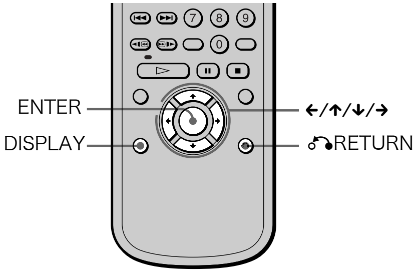
選んだ場面から再生を始めるには

◀/▲/▼/▶ で場面を選び、ENTER ボタンを押します。

💡 9つ以上のタイトルやチャプターがあるときは、画面の右下に ▼ が表示されます。一番右下（9の位置）の場面を選択し、▼ で次のタイトルやチャプターを表示させます。前の画面に戻るには、一番左上（1の位置）の場面を選択し、▲ を押します。



リモコンを使う場合は

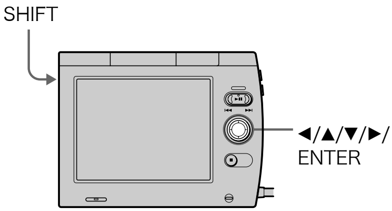


リモコンの DISPLAY ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させます。

◀/▲/▼/▶ の代わりに ←/↑/↓/→ を使います。

複数のアングルを同時に見る DVD

同じ場面が複数のアングルで記録されているとき、画面を9分割して複数のアングルが同時に表示されます。また選んだアングル画像だけを表示することもできます。



1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら、▼ を3回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で 「アングルビューアー」を選び、ENTER ボタンを押す。

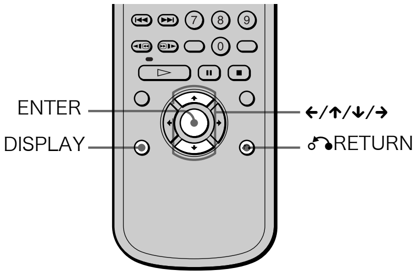
複数のアングルが表示されます。

次のページへつづく ➡

選んだアングルで再生するには

◀/▲/▼/▶ でアングルを選び、ENTER ボタンを押します。

リモコンを使う場合は



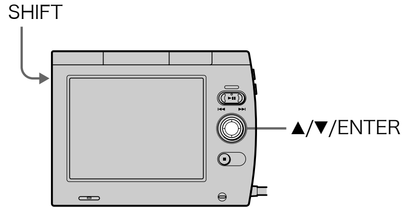
リモコンの DISPLAY ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させます。
◀/▲/▼/▶ の代わりに ←/↑/↓/→ を使います。

連続した９つの場面を表示する（ストロボ再生） DVD VIDEO CD

画面上に連続した９つの場面が表示されます。►II を押すと、一時停止します。

ご注意

ストロボ再生中は音声は出ません。



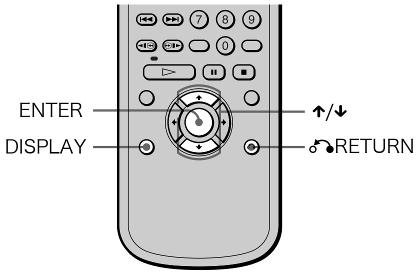
1 **再生中に、SHIFT ボタンを押しながら、▼ を３回押す。**

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **▲/▼ で 「ストロボ再生」を選び、ENTER ボタンを押す。**

連続した画面が表示されます。

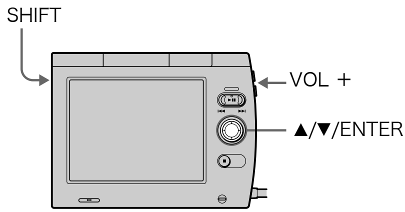
リモコンを使う場合は



リモコンの DISPLAY ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させます。
▲/▼ の代わりに ↑/↓ を使います。

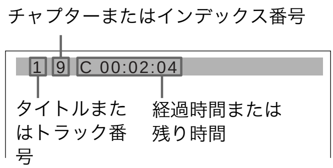
経過時間と残り時間を見る DVD VIDEO CD CD

状態表示画面またはコントロールメニュー画面で、再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間、ディスクの経過時間と残り時間を見られます。ディスクに記録された DVD テキストや CD テキストを見ることもできます。



1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を押す。

画面上に状態表示画面が出ます。



2 SHIFT ボタンを押しながら、VOL ＋ ボタンを繰り返し押して、時間表示を切り換える。

表示や切り換えできる時間の種類はディスクや再生箇所によって異なります。

■ **DVD のとき**

- C　＊＊：＊＊：＊＊
  チャプターの経過時間

次のページへつづく ➡

- C －＊＊：＊＊：＊＊
  チャプターの残り時間
- T　＊＊：＊＊：＊＊
  タイトルの経過時間
- T －＊＊：＊＊：＊＊
  タイトルの残り時間

■ **ビデオ CD を PBC 再生しているとき**

- ＊＊：＊＊
  シーンの経過時間

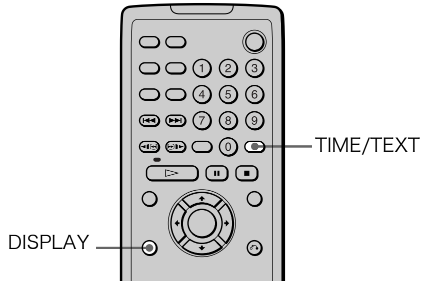
■ **ビデオ CD（PBC 再生中以外）/ CD のとき**

- T　＊＊：＊＊
  トラックの経過時間
- T －＊＊：＊＊
  トラックの残り時間
- D　＊＊：＊＊
  ディスクの経過時間
- D －＊＊：＊＊
  ディスクの残り時間

3 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を繰り返し押して、状態表示画面を消す。

状態表示画面になっていない場合でも、SHIFT ボタンを押しながら VOL ＋ボタンを押すと、時間表示切り換えができます。（時間表示は自動的に消えます。）

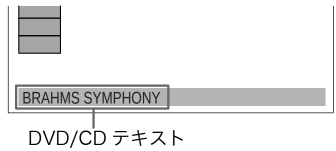
リモコンを使う場合は



リモコンの DISPLAY ボタンを押して状態表示画面またはコントロールメニュー画面を表示させ、TIME/TEXT ボタンで切り換えます。
再生中に、TIME/TEXT ボタンを繰り返し押して切り換えることもできます。

DVD/CD テキストを見るには

手順 2 で、SHIFT ボタンを押しながら VOL+ ボタン（リモコンでは TIME/TEXT ボタン）を繰り返し押します。テキストがディスクに記録されているときのみ表示されます。記録されていないと「NO TEXT」と表示されます。



1 行で表示しきれない DVD/CD テキストは、最初の部分のみ表示できます。

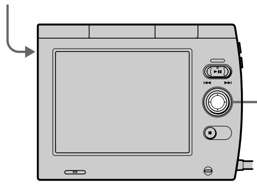
ご注意

- アルファベットのテキストのみ表示できます。
- 本機は DVD/CD テキストの最初の部分（タイトル名など）のみ表示できます。

音声を切り換える

DVD　VIDEO CD　CD

DVD の再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。
また、CD やビデオ CD 再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のヘッドホンから出すことができます。カラオケのビデオ CD などで、伴奏だけを聞くこともできます。

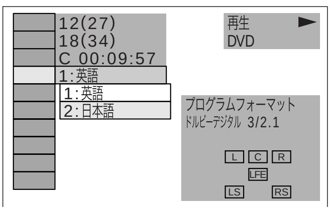


1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で（アイコン）「音声」を選び、ENTER ボタンを押す。

「音声」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼ で音声を選ぶ。

■ DVD のとき

選べる言語はディスクによって異なります。
4 桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（83 ページ）を参照してください。

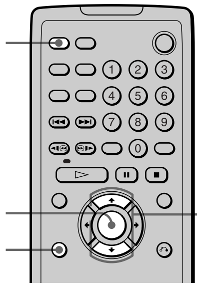
■ ビデオ CD / CD のとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

- <u>ステレオ</u>：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

4 ENTER ボタンを押す。

リモコンを使う場合は



AUDIO ボタンを繰り返し押して、音声を選びます。

💡 リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。▲/▼の代わりに ↑/↓ を使います。

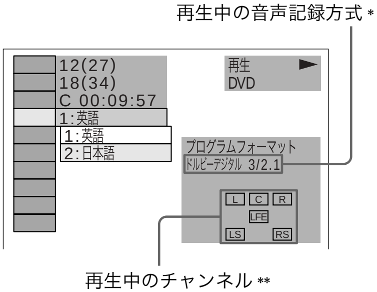
ご注意

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVD 再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。
- 音声切換がディスクのメニューでしかできない DVD もあります。

次のページへつづく ➡

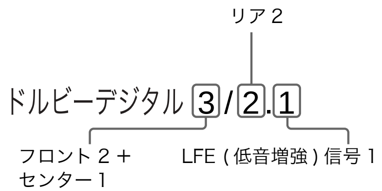
再生中の音声記録方式を調べる DVD

「音声」を選ぶと、現在再生中の音声記録方式が画面上に表示されます。



＊「PCM」または「DTS」、「ドルビーデジタル」が表示されます。
「ドルビーデジタル」のときは、音声の含まれるチャンネルが次のように数字で表示されます。

ドルビーデジタル 5.1 チャンネル音声：



＊＊各記号は次のチャンネルを表しています。

L：	フロント（左）
R：	フロント（右）
C：	センター（モノラル）
LS：	リア（左）
RS：	リア（右）
S：	リア（モノラル）：ドルビーサラウンド処理された信号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分
LFE：	LFE（Low Frequency Effect：低音増強）信号

画面表示の例

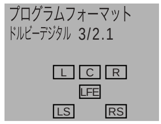
- PCM（ステレオ）



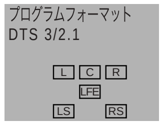
- ドルビーサラウンドのとき



- ドルビーデジタル 5.1 チャンネルのとき



- DTS のとき

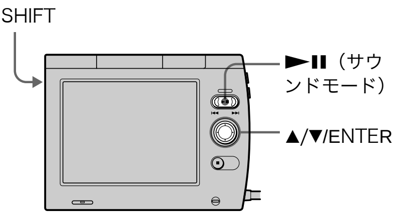


ご注意

「視聴設定」で「DTS」を「切」にしている場合（73 ページ）、および光デジタルコードが接続されていない場合は、ディスクに DTS 信号が含まれていても DTS を選択できません。

バーチャルサラウンドを楽しむ（サウンドモード） DVD VIDEO CD CD

バーチャルサラウンド機能でマルチチャンネル信号を音像処理することにより、ヘッドホンや２台のフロントスピーカーで仮想サラウンドが楽しめます。また低音を強調して重厚で迫力のある音で楽しむこともできます。



直接選ぶ

再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ►II を繰り返し押す。

押すたびに以下のように切り換わります

→ ノーマル
↓
バーチャルサラウンド 🎧1
↓
バーチャルサラウンド 🎧2
↓
バーチャルサラウンド 🔈
↓
MEGABASS1*
↓
MEGABASS2*

* AV 出力アダプターを使用し、音声コードを接続している場合は表示されません。

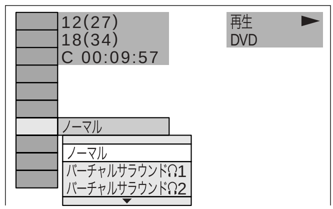
コントロールメニュー画面で選ぶ

1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で 「サウンドモード」を選び、ENTER ボタンを押す。

「サウンドモード」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼ でモードを選ぶ。

4 ENTER ボタンを押す。

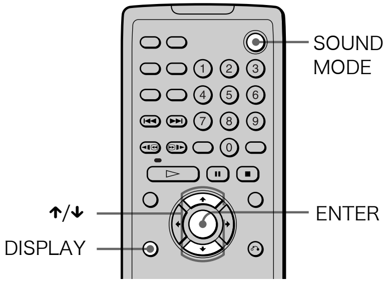
5 SHIFT ボタンを押しながら ▼ を（DVD のときは２回）押して、コントロールメニュー画面を消す。

設定を解除するには

手順３で「ノーマル」を選びます。

次のページへつづく ➡

リモコンを使う場合は



リモコンの SOUND MODE ボタンを繰り返し押して、サウンドモードを選びます。

💡 リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。▲/▼の代わりに ↑/↓ を使います。

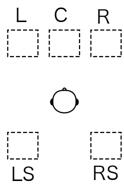
ご注意

- 音声コードの有無で、選べるサウンドモードが変わります。音声コードをつないでいる場合、MEGABASS1 と MEGABASS2 は選べません。
- 音声コードがつながれている場合とそうでない場合に設定したサウンドモードが別々に記憶されます。機能するサウンドモードは、同じ条件下で（音声コードがつながっているかどうか）で設定したサウンドモードです。

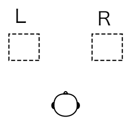
■ バーチャルサラウンド🎧1/バーチャルサラウンド 🎧2

音像処理により、ヘッドホン（L、R）の音から、下図のような仮想スピーカーを再現します。あたかも周囲のスピーカーからの音を聞いているような効果を得ることができます。
🎧1 はインナーイヤーヘッドホンに適しています。
🎧2 はオープンエアヘッドホンに適しています。（MDR-F1 など）

- マルチチャンネル（ドルビーデジタル 5.1 チャンネルなど）の場合

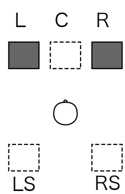


- ステレオ音声（PCM、ドルビーデジタル（ステレオ）など）の場合



■ バーチャルサラウンド 🔈

音像処理により、実在するスピーカーの音から、仮想スピーカーを再現します。ステレオテレビやアクティブスピーカーなどを接続して聞く場合に適しています。
マルチチャンネル（ドルビーデジタル 5.1 チャンネルなど）の場合は、下図のような仮想スピーカーを再現します。



L：フロントスピーカー（L）
C：センタースピーカー（C）
R：フロントスピーカー（R）
LS：リアスピーカー（L）
RS：リアスピーカー（R）
⬚：仮想スピーカー

■ MEGABASS1/MEGABASS2（メガベース）

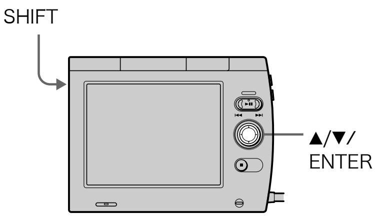
低音が強調され、重厚で迫力のある音で楽しめます。
MEGABASS2 は、MEGABASS1 よりさらに低音が強調されます。

ご注意

- 項目を選んだときは一瞬音が途切れます。
- リア音声（48 ページ）が記録されていないディスクの場合、サラウンド効果はわかりにくくなります。
- ヘッドホンによってはサラウンド効果が分かりにくくなる場合があります。
- サウンドモード内のバーチャルサラウンド項目を選んでいるときは、つないでいる機器（アンプやテレビなど）のサラウンドの設定は「切」にしてください。
- MEGABASS モードを選んでいるときに音がひずむときは、音量を下げてください。

アングルを切り換える DVD

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えることができます。
例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。アングルを変えられるときは、画面に約５秒間　が点灯します（72 ページ）。

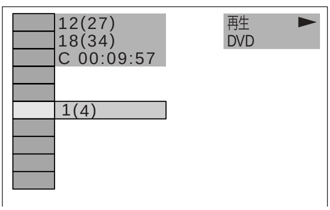


1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

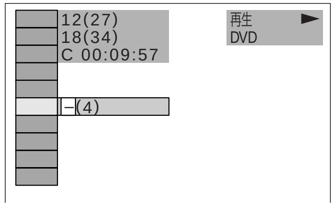
2 ▲/▼ で 「アングル」を選ぶ。

カッコ内の数字は、再生中のタイトルに記録されているアングルの総数です。



3 ENTER ボタンを押す。

アングル番号が「ｰ」に変わります。

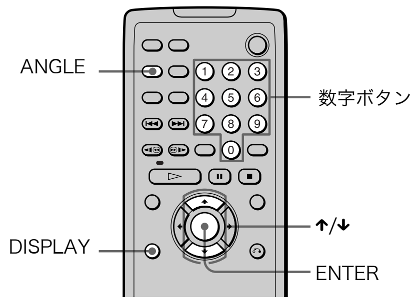


4 ▲/▼ でアングル番号を選び、ENTER ボタンを押す。

選んだアングルに切り換わります。

5 SHIFTボタンを押しながら▼を2回押して、コントロールメニュー画面を消す。

リモコンを使う場合は



ANGLE ボタンを繰り返し押して、アングルを選びます。

💡 リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。▲/▼の代わりに ↑/↓ を使います。アングル番号を選ぶときは、数字ボタンで直接番号を入れることもできます。

💡 同じ場面が複数のアングルで記録されているとき、画面を９分割して複数のアングルを同時に表示できます。また選んだアングル画像から直接再生を

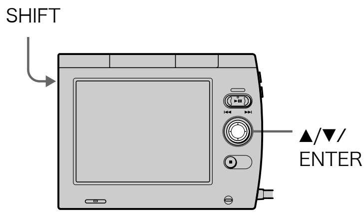
始めることもできます。詳しくは、43 ページをご覧ください。

ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する DVD

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりできます。複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えて、語学の学習に役立てたりできます。

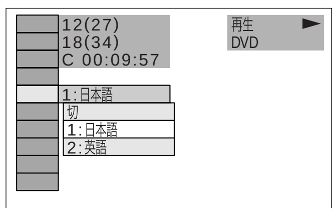


1 再生中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を２回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で 「字幕」を選び、ENTER ボタンを押す。

「字幕」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼ で言語を選ぶ。

選べる言語はディスクによって異なります。

4 桁の数字が表示されたときは「言語コード一覧表」（83 ページ）を参照してください。

次のページへつづく ➡

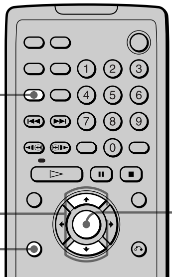
4 ENTER ボタンを押す。

5 SHIFTボタンを押しながら▼を2回押して、コントロールメニュー画面を消す。

字幕を消すには

手順 3 で「切」を選びます。

リモコンを使う場合は



SUBTITLE ボタンを繰り返し押して、字幕を選びます。

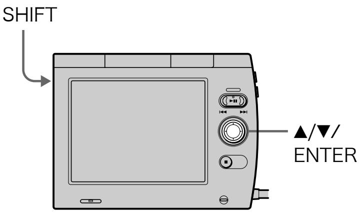
💡 リモコンのDISPLAYボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させることもできます。▲/▼の代わりに ↑/↓ を使います。

ご注意

- ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。
- 設定がディスクのメニューでしかできないDVDもあります。

アラームを鳴らす（乗り越し防止機能）

設定した時間がたつと、ヘッドホンから「ピピピピ」という音が繰り返し聞こえます。



1 SHIFT ボタンを押しながら ENTER を押す。

「乗り越し防止タイマー」画面が表示されます。



2 ▲/▼ でアラームを鳴らす時間（1 ～ 150 分）を設定する。

3 ENTER ボタンを押す。

設定した時間がたつと、((•)) が約 10 秒間点滅し、アラームが鳴ります。

アラームを止める

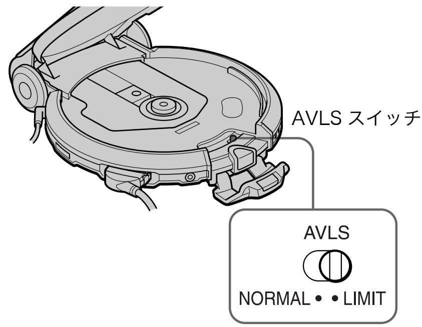
モニターユニットまたは本体のボタンのどれかを押します。
AC パワーアダプターで使用している場合は、リモコンのボタンのどれかを押します。

充電式電池や AC パワーアダプターをはずすとアラーム設定は解除されます。

状態表示画面（18 ページ）に残り時間が表示されます。

音もれを抑える（AVLS 機能）

音量の上げすぎによる音もれ、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことによる危険などを少なくするために、音量をある一定以上に上げないようにします。



AVLS スイッチを「LIMIT（リミット）」に合わせる。

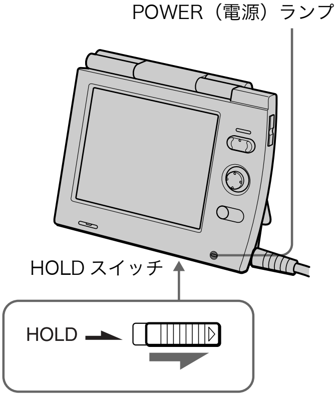
AVLS は、Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム） の略称です。

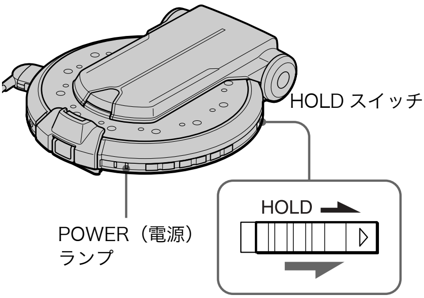
AVLS 機能を解除するには

AVLS スイッチを「NORMAL（ノーマル）」に合わせます。

誤操作を防ぐ（ホールド機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、動作するのを防ぎます。





HOLD スイッチを矢印の方向にスライドさせる。

モニターユニットと本体の両方でホールド機能を使うことができます。
本体の HOLD スイッチをホールドにすると、本体の操作ボタンが働かなくなります。
モニターユニットの HOLD スイッチをホールドにすると、モニターユニットの操作ボタンが働かなくなります。
ホールドになっているときに操作ボタンを押すと、POWER ランプが赤く点滅します。

ホールド機能を解除するには

HOLD スイッチを矢印と反対の方向にスライドさせます。

テレビやアンプなどとつなぐ

テレビにつないでテレビ画面で画像を見たり、テレビのスピーカーやアンプに接続したスピーカーから音声を聞くことができます。

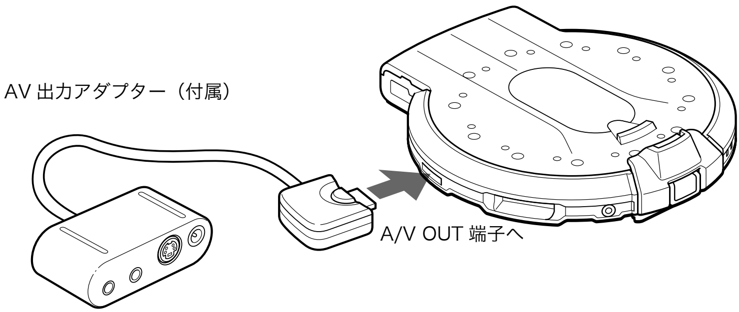
接続する機器の電源は、接続する前に必ず切ってください。

ご注意

- ノイズや雑音の原因となるので、プラグは端子にしっかりと差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

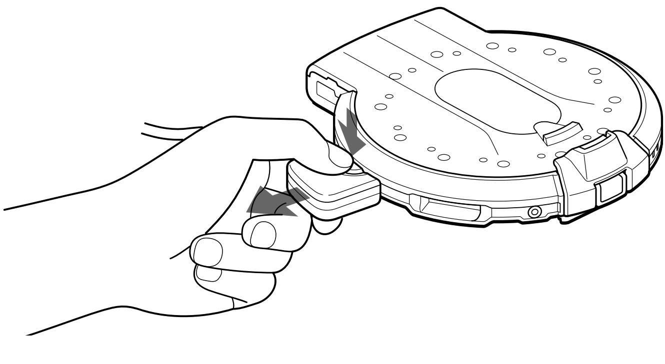
手順 1：AV 出力アダプターをつなぐ

本体に付属の AV 出力アダプターを取り付けると、テレビやアンプなどとつなぐことができます。



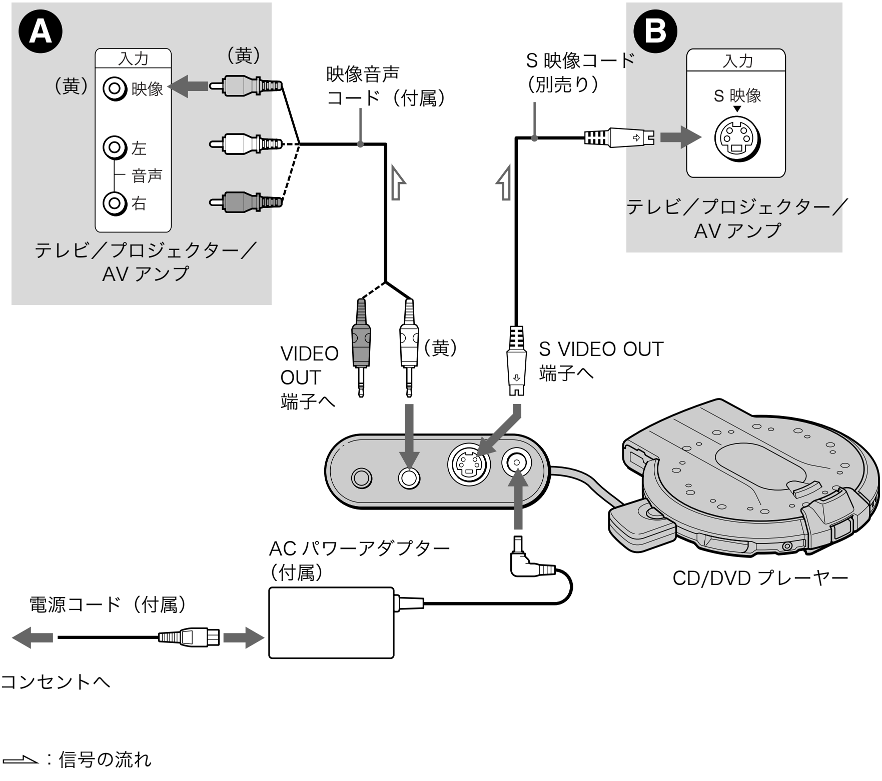
はずすには

AV 出力アダプターの接続部の「PUSH」を押しながら、引き抜きます。



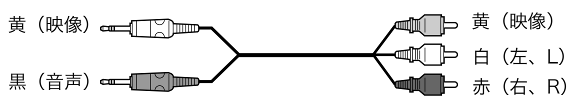
手順 2：映像コードをつなぐ

テレビやモニター、プロジェクター、AV アンプなどと映像コードでつなぎます。お手持ちの機器の入力端子によって、Ⓐ と Ⓑ の 2 種類のつなぎかたから 1 つ選んで、接続します。



Ⓐ 映像入力端子のある機器とつなぐ

映像音声コード（付属）の黄プラグを、黄（映像）端子につなぎます。標準的な映像が楽しめます。



黒プラグは音声コードをつなぐとき（60 ページ）に使います。

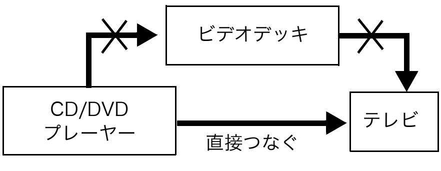
Ⓑ S映像入力端子のある機器とつなぐ

S映像コード（別売り）を使ってつなぎます。よりきれいな映像が楽しめます。



ご注意

- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力（Y/PB/PR）には対応していません。
- 本機とビデオデッキを接続しないでください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映すと、画像が乱れることがあります。



手順 3：音声コードをつなぐ

お手持ちの機器に応じた接続方法を選んで、音声コードをつないでください。どのような機器と接続して音声を出力するかによって、得られるサラウンド効果は異なります。

接続方法を選ぶ

A ～ D のつなぎかたから 1 つを選んでください。

接続	接続する機器
A (61 ページ)	テレビ（ステレオ）
B (62 ページ)	ステレオアンプ （音声入力端子が L、R のみ。または、デジタル入力端子付） •2 台のスピーカー （フロント L、R）
B (62 ページ)	MD デッキ /DAT デッキ
C (63 ページ)	ドルビー * サラウンドプロロジックデコーダー付 AV アンプ （音声入力端子が L、R のみ。または、デジタル入力端子付） •3 台のスピーカー （フロント L、R、リア（モノラル）） •6 台のスピーカー （フロント L、R、センター、リア L、R、サブウーファー）
D (64 ページ)	ドルビーデジタルまたは DTS** デコーダー付 AV アンプ（デジタル入力端子付） •6 台のスピーカー （フロント L、R、センター、リア L、R、サブウーファー）

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

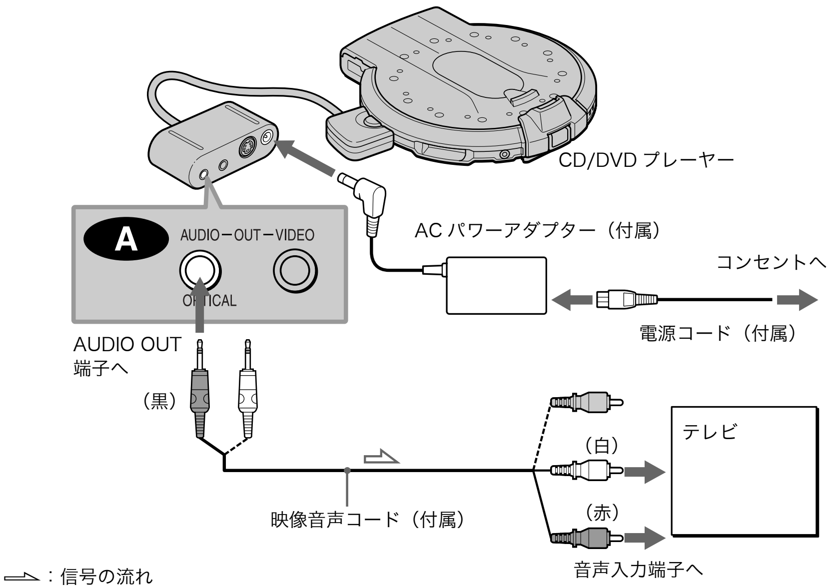
** DTS は Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

Ⓐ テレビとつなぐ

テレビのスピーカーから音を出すときの接続です。

■ この接続でおすすめのサラウンド効果

- バーチャルサラウンド 🔈（49 ページ）



映像音声コードの黄プラグは、映像コードをつなぐとき (58 ページ) に使います。

次のページへつづく ➡

B ステレオアンプと 2 台のスピーカーにつなぐ / MD デッキ、DAT デッキとつなぐ

ステレオアンプにつないだ 2 台のスピーカー（フロント L、R）から音を出すときの接続です。ステレオアンプの音声入力端子が L、R のみのときは B-1 でつなぎます。デジタル入力端子もついているときは B-2 でつなぐこともできます。
MD デッキや DAT デッキとつなぐときは、B-2 でつなぎます。アンプを経由せず、直接本機と MD デッキや DAT デッキをつなぐこともできます。

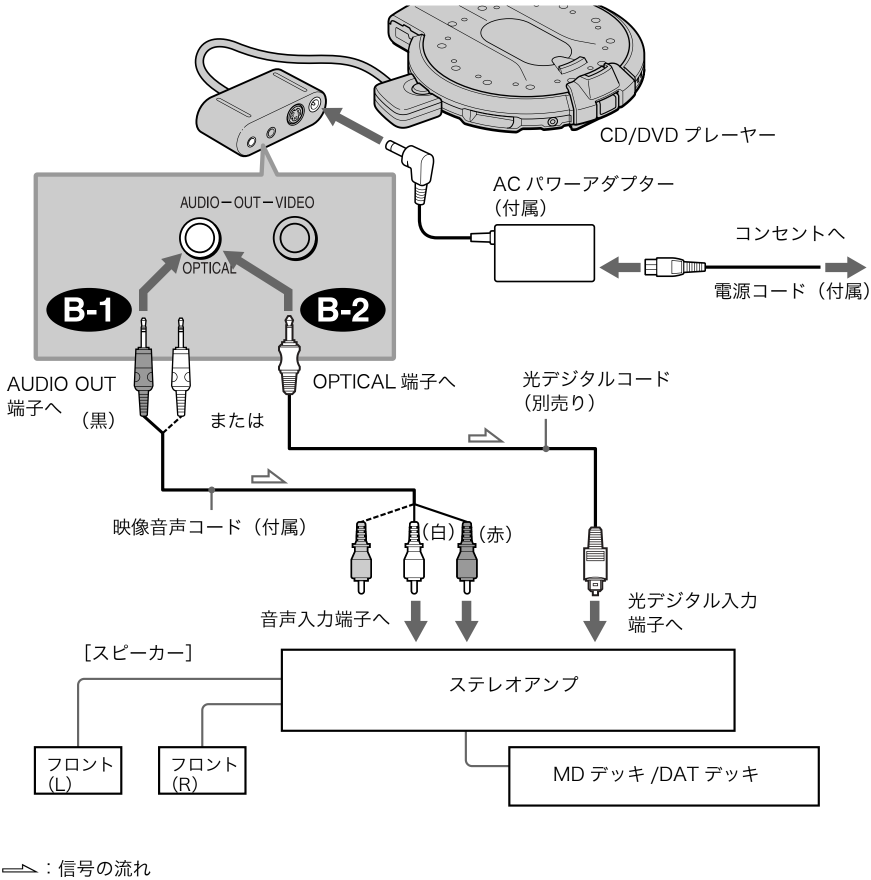
■ B-1 接続でおすすめのサラウンド効果

- バーチャルサラウンド (49 ページ)

充分な音声効果を楽しむために、リスニングポジションがスピーカーの間に位置するようにスピーカーを設置してください。

ご注意

B-2 でつないだ場合、音声デジタル出力の設定が必要です。(67 ページ)



C ドルビーサラウンドプロロジックデコーダー付AVアンプと3～6台のスピーカーにつなぐ

この接続で楽しめるサラウンドは、アンプのドルビーサラウンドプロロジック機能を使ったサラウンド効果です。ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー付AVアンプをお持ちの場合は64ページをご覧ください。

ドルビーサラウンド音声、またはマルチチャンネル音声（ドルビーデジタル）を再生するときに、サラウンド効果が得られます。

3台のスピーカー（フロントL、R、リア（モノラル））でサラウンドをお楽しみいただけます。アンプに応じて6台のスピーカー（フロントL、R、センター、リアL、R、サブウーファー）とつなげば、より豊かな音場を体感できます。

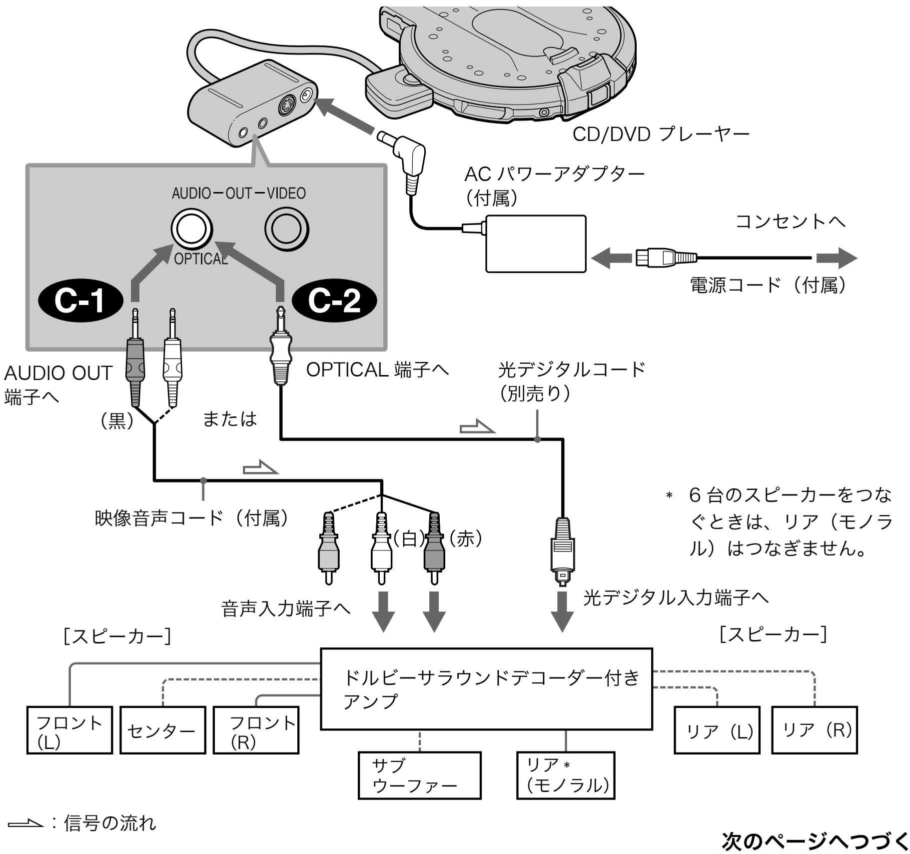
アンプの音声入力端子が、L、Rのみのときは C-1 でつなぎます。デジタル入力端子がついているときは C-2 でつなぎます。

■ この接続でおすすめのサラウンド効果

- アンプによるドルビーサラウンドプロロジック

（このとき、本体の「サウンドモード」は「ノーマル」にしてください。）

スピーカーの配置については、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。



次のページへつづく ➡

D ドルビーデジタルまたは DTS デコーダ ー 付 AV アンプ（デジタル入力端子付）と 6 台のスピーカーにつなぐ

この接続で楽しめるサラウンドは、アンプのドルビーデジタルまたは DTS デコーダー機能を使った音声効果です。

■ この接続でおすすめのサラウンド効果

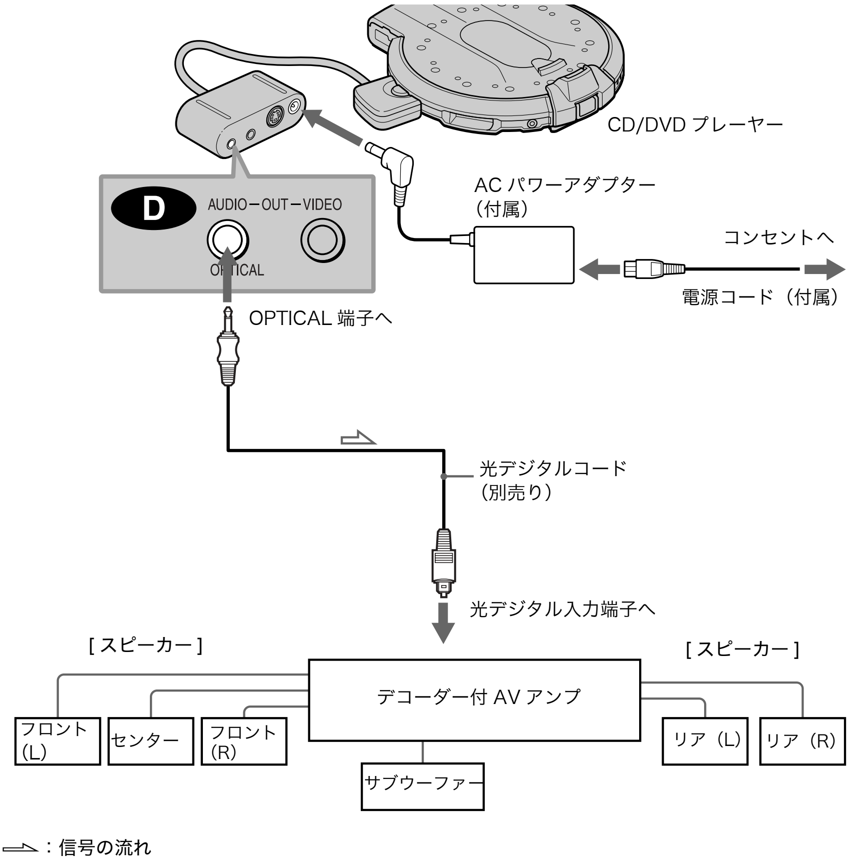
- アンプによる 5.1 チャンネルドルビーデジタル音声
- アンプによる 5.1 チャンネル DTS 音声

（このとき、本機の「サウンドモード」は「ノーマル」にしてください。）

スピーカーの配置についてはつなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

この接続をしたときは、「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」にします（67 ページ）。DTS デコーダー付 AV アンプをつないだときは、「DTS」を「入」にします（67 ページ）。

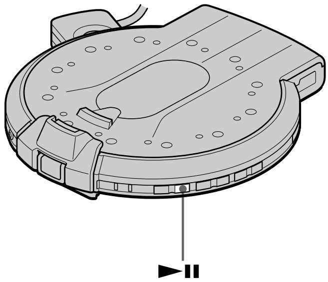


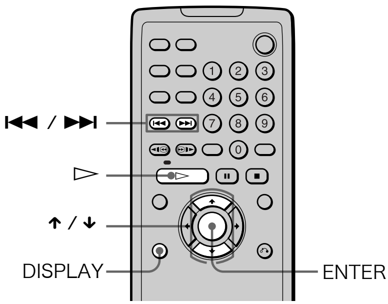
手順 4：電源コードをつなぐ

本機の AC パワーアダプターおよびテレビなどの接続した機器の電源コードを電源コンセントにつなぎます。
なお、本機の AC パワーアダプターの電源コードは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、各種設定の内容が消去されることがあります。

手順 5：クイック設定をする

以下の手順にそって基本の設定をします。





1 テレビの電源を入れる。

2 テレビの入力を本機につないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。

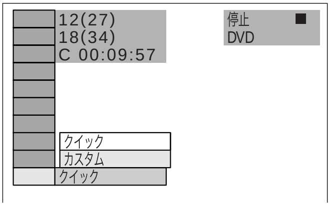
3 本体の ►II ボタンまたはリモコンの ▷ ボタンを押して電源を入れる。

次のページへつづく ➡

4 ディスクが入っていない、または停止状態で DISPLAY ボタンを押す。

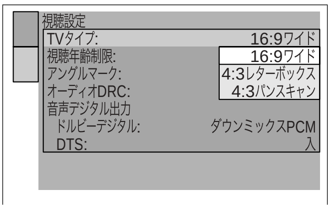
5 ↑／↓で 「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。

「設定」の設定項目が表示されます。



6 ↑／↓で「クイック」を選び、ENTER ボタンを押す。

接続したテレビの種類を設定する画面が表示されます。



7 ↑／↓で項目を選ぶ。

このテレビと接続するときは	これを選ぶ	詳細ページ
ワイドテレビまたはワイドモードのある４：３画面のテレビ	「16:9 ワイド」	71
従来の４：３画面のテレビ	「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」	71

8 ENTER ボタンを押す。

クイック設定が終了します。

手順 6：音声デジタル出力を設定する

62 ～ 64 ページで選択した音声コードの接続パターン（B～D）にあわせて以下のように設定してください。
設定の操作については「設定画面を使う」(69 ページ）をご覧ください。

接続（61 ～ 64 ページ）

A B-1 C-1

光デジタルコードを使っていないため、設定は不要です。

B-2 C-2

項目	これに設定する	詳細ページ
「ドルビーデジタル」	「ダウンミックスPCM」	72
「DTS」	「切」	73

D 接続した AV アンプのドルビーデジタルデコーダーを使うとき

項目	これに設定する	詳細ページ
「ドルビーデジタル」	「ドルビーデジタル」	72
「DTS」	「切」	73

D 接続した AV アンプの DTS デコーダーを使うとき

項目	これに設定する	詳細ページ
「DTS」	「入」	73

DVD の DTS 音声再生時のご注意

DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器につなぐときは、「視聴設定ー音声デジタル出力ー DTS」を「切」に設定してください（73 ページ）。
「入」に設定して DTS 音声を選ぶと、大きなノイズが出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損することがあります。
DTS「入」で DTS 音声を選ぶと、本機のヘッドホンから音は出ません。状態表示画面に DTS が表示されます。

テレビで見る

1 テレビの電源を入れる。

2 テレビの入力を本機につないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力を本機につないだ入力に切り換えます。

3 本機にディスクを入れる。

再生したい面を下にして入れます。

4 ►II を押す。

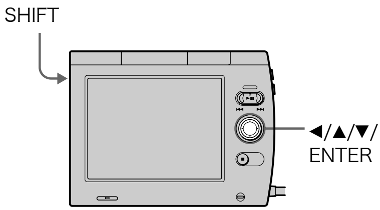
リモコンを使う場合は、▷ を押します。
再生が始まります。テレビまたはアンプで音量を調整します。

設定画面を使う

DVD　VIDEO CD　CD

設定画面を使って、DVD の字幕の言語やメニューの表示言語、音声などを設定できます。設定画面の項目の一覧は 84 ページをご覧ください。各項目について詳しくは、70 ～ 73 ページをご覧ください。

設定画面の使い方

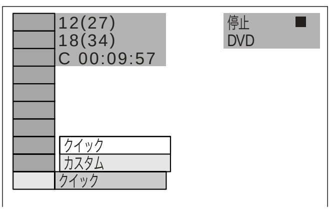


1 **停止中に、SHIFT ボタンを押しながら ▼ を 2 回押す。**

コントロールメニュー画面が表示されます。

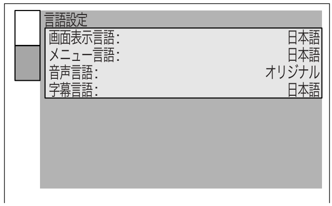
2 **▲ / ▼ で「設定」を選び、ENTER ボタンを押す。**

「設定」の設定項目が表示されます。



3 **▲ / ▼ で「カスタム」を選び、ENTER ボタンを押す。**

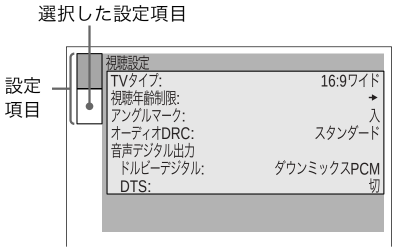
設定画面が表示されます。



4 **▲ / ▼ で「言語設定」または「視聴設定」から、設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。**

選択した設定項目の画面が表示されます。

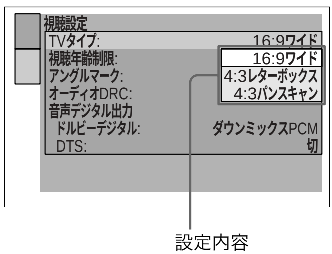
例）「視聴設定」



5 **▲ / ▼ で項目を選び、ENTER ボタンを押す。**

項目の設定内容が一覧表示されます。

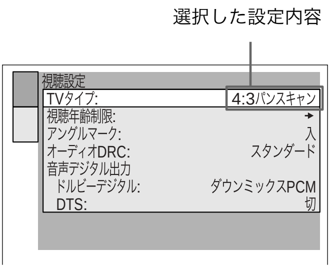
例）「TV タイプ」の設定内容



次のページへつづく ➡

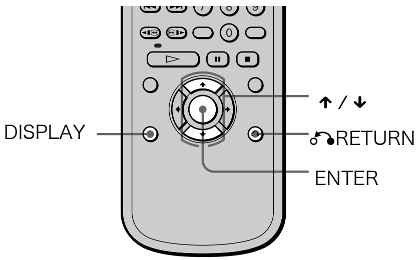
6 ▲ / ▼ で設定内容を選び、ENTER ボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。
例）「4：3パンスキャン」



7 さらに設定をするには、SHIFT ボタンを押しながら ◀（RETURN ボタン）を押し、手順 4 ～ 6 を行う。

リモコンを使う場合は



リモコンの DISPLAY ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示させます。
▲/▼ の代わりに ↑/↓ を使います。

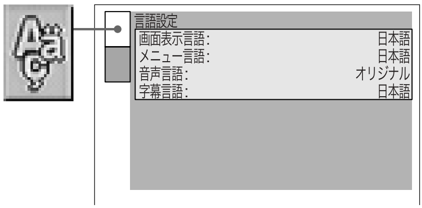
手順 3 で「クイック」を選んで、決定ボタンを押すとクイック設定ができます。「手順 5：クイック設定をする」（65 ページ）の手順 5 以降にしたがって、設定していきます。

表示言語や音声言語の設定（言語設定）

DVD　VIDEO CD　CD

言語設定画面では、画面や音声の言語を設定することができます。

設定画面で「言語設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（69 ページ）をご覧ください。



■ 画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

■ メニュー言語（DVD のみ）

メニュー言語が複数入っている DVD を再生する場合、表示される言語を選びます。

■ 音声言語（DVD のみ）

音声の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

■ 字幕言語（DVD のみ）

字幕の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。
「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他 →」を選んだときは、言語コード一覧表（83 ページ）から言語コードを選び入力してください。次からは 4 桁の数字の言語コードが表示されます。

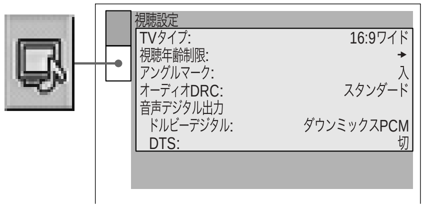
ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます（「画面表示言語」を除く）。

視聴に関する設定（視聴設定） DVD VIDEO CD CD

視聴年齢制限などの設定や、音声、接続した機器に合わせた設定などを行います。

設定画面で「視聴設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」（69 ページ）をご覧ください。



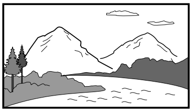
■ TV タイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の 4：3 画面テレビ）を設定します。

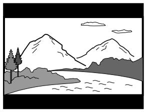
16:9 ワイド	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する

次のページへつづく →

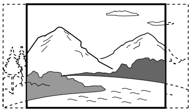
16:9 ワイド



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

DVD によっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。DVD のディスクやパッケージで確認してください。（12 ページ）

■ 視聴年齢制限 →（DVD のみ）

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のある DVD の再生を制限する設定をします。詳しくは「ディスクの再生を制限する」（73 ページ）をご覧ください。

■ アングルマーク（DVD のみ）

アングルを切り換えられる場面になったら、約 5 秒間  が画面に出ます。

入	マークを出す
切	マークを出さない

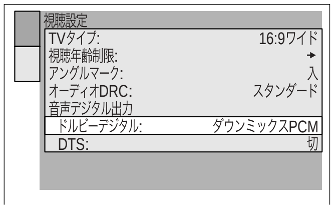
■ オーディオ DRC（Dynamic（ダイナミック） Range（レンジ） Control（コントロール））（DVD のみ）

DVD の音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオ DRC 機能のある DVD を再生しているときのみ効果があります。
この機能は、次の出力には効果がありません。
–「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に設定したときの光デジタルコードでの出力
– DTS 音声出力

スタンダード	通常はこの設定にする
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果がある
ワイドレンジ	迫力のある音になる。 高品質のスピーカーを使うとさらに効果を得られる

音声デジタル出力の信号を設定する

OPTICAL 端子（AUDIO OUT 端子）に、光デジタルコードを使って、次のような機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。
– デジタル入力端子のあるアンプ
– ドルビーデジタルまたは DTS デコーダー内蔵の AV アンプ
– MD デッキまたは DAT デッキ
接続について詳しくは、60 ページをご覧ください。



■ ドルビーデジタル

OPTICAL 端子（AUDIO OUT 端子）から出力するドルビーデジタル信号の方式を選びます。

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。 ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがある

■ DTS

OPTICAL 端子（AUDIO OUT 端子）から DTS 信号を出力するか、しないかを選びます。

切	DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ。この設定にしていても CD の DTS 信号は出力される
入	DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。 DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがある

ご注意

DTS 音声を選んだとき、本機のヘッドホンからは音が出ません。

ディスクの再生を制限する

DVD の中には、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって視聴を制限できるものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。
制限されているシーンが再生されたとき、そのシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。
リモコンでのみ、設定できます。

視聴年齢制限―設定する

1 69 ページの「設定画面を使う」の操作で、設定画面で「視聴設定」を選ぶ。

2 ↑/↓ で「視聴年齢制限 →」を選び、ENTER ボタンを押す。

■ 暗証番号が登録されていないとき

暗証番号登録の画面が表示されます。
数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、ENTER ボタンを押す。
暗証番号確認の画面が出ます。

■ 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。

3 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、ENTER ボタンを押す。
視聴制限のレベル設定および、暗証番号の変更の画面が表示されます。

4 ↑/↓ で「使用する地域」を選び、ENTER ボタンを押す。
「使用する地域」の選択項目が表示されます。

5 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、ENTER ボタンを押す。
地域が選ばれます。
「その他 →」を選んだときは、74 ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

6 ↑/↓ で「レベル」を選び、ENTER ボタンを押す。

7 ↑/↓ で制限するレベルを選び、ENTER ボタンを押す。
視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

■ 間違えたときは

RETURN ボタンを押して 1 つ前の画面に戻り、選びなおします。

次のページへつづく →

■ **視聴年齢制限を解除するときは**

手順７で「レベル」を「切」にします。

■ **暗証番号を変更するには**

1 「視聴年齢制限―設定する」の手順２～３までを行う。

2 ↓を使って「暗証番号変更 →」を選び、ENTERボタンを押す。
暗証番号入力の画面が出ます。

3 もう一度手順３を行い、新しい暗証番号を登録する。

視聴年齢制限―再生する

1 ディスクを入れて、▷を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す。
再生が始まります。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴年齢制限―設定する」にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、６桁の数字「199703」を数字ボタンで入力してENTERボタンを押します。画面に、新しい４桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。
新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、▷を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入れます。

ご注意

視聴年齢制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。

地域コード

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044	チリ	2090
イギリス	2184	デンマーク	2115
イタリア	2254	ドイツ	2109
インド	2248	日本	2276
インドネシア	2238	ニュージーランド	2390
オーストラリア	2047	ノルウェー	2379
オーストリア	2046	パキスタン	2427
オランダ	2376	フィリピン	2424
カナダ	2079	フィンランド	2165
韓国	2304	ブラジル	2070
シンガポール	2501	フランス	2174
スイス	2086	ベルギー	2057
スウェーデン	2499	ポルトガル	2436
スペイン	2149	香港	2219
タイ	2528	マレーシア	2363
台湾	2543	メキシコ	2362
中国	2092	ロシア	2489

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ 充電式電池でのみ使っている場合、リモコンで電源を入にすることはできない。モニターユニットか本体の ►II ボタンを押して電源を入れる。
➡ AC パワーアダプターや電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。
➡ 充電式電池が充電されていない。
➡ 充電式電池が正しく取り付けてあるか確認する（23 ページ）。

電源が切れる。

➡ オートパワーオフ機能が働いている（27 ページ）。

映像

映像が出ない、カラー映像にならない。

➡ ディスクがきちんと入っていない。
➡ 接続コード類のプラグがしっかり差し込まれていない。（AV 出力アダプター、モニターユニットは、電源を切った状態でつなぎ直す。）
➡ 接続コードが断線している。
➡ テレビの入力端子を間違えている（58 ページ）。
➡ テレビの入力切り換えで本機の映像が映るようにしていない。

映像が乱れる。

➡ ディスクに汚れや傷がある。
➡ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部の DVD プログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。

設定画面の「視聴設定」の「TV タイプ」で設定した画像の形（レターボックスまたはパンスキャン）で再生できない。

➡ レターボックスかパンスキャンのどちらか一方に固定されているディスクを再生している。（12、71 ページ）

モニターユニットの画像の縦横比がおかしい。

➡「TV タイプ」を「16:9 ワイド」に設定し、AV 出力アダプターをつないでいる。

音声

音が出ない。

➡ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
➡ 接続コードが断線している。
➡ アンプの入力端子を間違えている（62、63、64 ページ）。
➡ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
➡ 一時停止、スロー再生になっている。
➡ 早送りまたは早戻しになっている。
➡ ストロボ再生、アングルビューアーになっている。
➡ DTS 音声を選んでいる（67 ページ）。

次のページへつづく ➡

雑音が多い。

➡ ディスクに汚れ、傷がある。

➡ ディスクがきちんと入っていない。

➡ ヘッドホンプラグが汚れている（10ページ）。

DVDを再生したときの音量が低い。

➡ DVDは､CDやビデオCDに比べて音量の記録レベルが低く設定されている場合が多い。

操作

リモコンで操作できない。

➡ 充電式電池でのみ使っている場合、リモコンで電源を入にすることはできない。
モニターユニットか本体で ►II ボタンを押す。

➡ リモコンと本体との間に障害物がある。

➡ リモコンと本体との距離が離れている。

➡ 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。

➡ 本体のリモコン受光部に強い光が当たった。

➡ リモコンの電池が消耗している。

再生が始まらない。

➡ ディスクが正しく入っていない。（裏返し、浮きなど）

➡ CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている（13ページ）。（ディスクによっては「C:13:00 ディスクが汚れています」と表示されます。）

➡ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（12ページ）。

➡ 結露している。ディスクを取り出して約30分放置し、►II ボタンを押し直してから再生を始める（10ページ）。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ プログラムまたはシャッフル、リピート、A-Bリピート再生になっている（32ページ）。
SHIFTボタンを押しながらVOL−（CLEARボタン）を押してこれらの機能を解除してから、再生を始める。

➡ リジューム再生になっている。
停止中に、SHIFTボタンを押しながら ■ を押す、またはバックルを開閉してから再生を始める（29ページ）。

操作できない。

➡ ホールドが働いている。（POWER（電源）ランプが赤く点滅）
ホールドを解除する（56ページ）。

ヘッドホンの音量が大きくならない。

➡ AVLSが働いている。
AVLSを解除する（55ページ）。

再生が自動的に止まる。

➡ 自動的にメニューの画面（静止画）が表示されるディスクを入れている。

ストップ、スキャン、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。

希望する言語で画面表示されない。

➡ 設定画面の「言語設定」の「画面表示言語」で希望の言語を選ぶ（70ページ）。

音声言語を変更できない。

➡ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。

➡ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。

➡ メニュー画面でしか切り換えできないDVDを再生している。

字幕を変更できない。

➡ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。

➡ 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。

➡ メニュー画面でしか切り換えできないDVDを再生している。

字幕を消すことができない。

➡ 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。

➡ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

正常に動作しない。

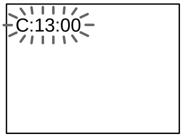
➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、一度充電式電池やACパワーアダプターをはずし、30秒程度放置してから、もう一度動作させてください。

本体やモニターユニットが熱くなる。

➡ 長時間使用すると、本体やモニターユニットの温度が上がりますが、故障ではありません。

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C 13 00）が表示されます。その際は次のように対応してください。



サービス番号の最初の３桁	原因と対応
C 13	ディスクが汚れています ➡ 柔らかい布でディスクを拭きます（14ページ） ➡ 再生できないディスクを入れている場合に表示されることがあります（13ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

アフターサービスをご依頼になるときは、必ず、本体とモニターユニット、リモコンの全てをお持ちください。

部品の保有期間について

当社では、ポータブル CD/DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：D-VM1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

用語解説

インデックス (CD)/ ビデオインデックス（ビデオ CD）（18 ページ）
再生したい部分を見つけやすいように、1 つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

視聴年齢制限（73 ページ）
国ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、という DVD の機能。制限のしかたは DVD によって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

シーン（19 ページ）
PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオ CD で、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。

タイトル（18 ページ）
DVD に記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトではアルバム 1 枚（または 1 曲）にあたる。

地域番号（リージョンコード）（12 ページ）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVD プレーヤーや DVD ディスクには地域番号が割り当てられていて、プレーヤーやディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。プレーヤーとディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL 表示のあるディスクは、どのプレーヤーでも再生できる。なお、地域番号の表示がない DVD でも、地域制限されている場合がある。

チャプター（18 ページ）
DVD に記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1 つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック（18 ページ）
ビデオ CD や CD に記録されている映像や曲の区切り（1 曲分）。

ドルビーサラウンドプロロジック（63 ページ）
ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

ドルビーデジタル（60、72 ページ）
ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。モノラルから 5.1 チャンネル・サラウンドまでに対応している。5.1 チャンネル・サラウンドの場合、リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を 5.1 チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

次のページへつづく →

DVD（12 ページ）

CD と同じ直径で最大 8 時間までの動画が記録できるディスク。

片面 1 層で 4.7GB（Giga Byte）と CD の 7 倍の情報が記録でき、片面 2 層で 8.5GB、両面 1 層では 9.4GB、両面 2 層では 17GB が記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約 1/40（平均）に圧縮して記録する。

また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報は PCM の他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチ音声、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DTS（60、73 ページ）

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1 チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を 5.1 チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

主な仕様

システム

形式	ポータブル CD/DVD プレーヤー
信号方式（モニターユニット）	JEITA 標準、NTSC/PAL カラー方式
信号方式（AV 出力アダプター）	ビデオ CD：JEITA 標準、NTSC カラー方式
	DVD：ディスクのカラー方式

音声特性（「サウンドモード」が「ノーマル」の時・AV 出力アダプター出力）

周波数特性	DVD（PCM 96 kHz 再生時）：4 Hz ～ 44 kHz（± 1 dB）*
	DVD（PCM 48 kHz 再生時）：4 Hz ～ 22 kHz（± 1 dB）*
	CD：4 Hz ～ 20 kHz（± 1 dB）*
信号対雑音比（S/N 比）	110 dB* （AUDIO OUT 端子のみ）
全高調波ひずみ率	0.005 %*
ダイナミックレンジ	DVD：103 dB*
	CD：99 dB*
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001% W PEAK）以下 *
実用最大出力（DC 時)**	25 mW + 25 mW（16Ω）

* PCM 音声の測定は AUDIO OUT 端子を使用。96kHz PCM 音声は、OPTICAL 端子から 48kHz に変換されて出力されます。

電源、その他

電源	DC 10 V
	充電式電池（付属：LIP-30、7.4 V、3000 mAh、Li-Ion）
	単 3 形乾電池 2 個（リモコン用）
電池持続時間	充電式電池の持続時間については、「手順 2：電源を準備する」（23 ページ）をご覧ください。
消費電力（DVD 再生時）	6 W
最大外形寸法 **	150.2 × 31.8 × 167.7 mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約 332 g（本体のみ）、約 571 g（充電式電池含む）
許容動作温度	5 ～ 35 ℃
許容動作湿度	25 ～ 80 %

モニターユニット

液晶画面	3.5 型 TFT モニター

次のページへつづく ➡

AV 出力アダプター

OPTICAL OUT 端子	ミニジャック、-18 dBm、発光波長 660 nm
AUDIO OUT 端子	ミニジャック、2 Vrms（50 kΩ）、10 kΩ 以上
VIDEO OUT 端子	ミニジャック、1.0 V_{P-P}、75 Ω、同期負
S VIDEO OUT 端子	4 ピンミニ DIN
	輝度信号：1.0 V_{P-P}、75 Ω 同期負
	色信号：0.286 V_{P-P}、75 Ω 終端

AC パワーアダプター

電源	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz

付属品

21 ページをご覧ください。

別売りアクセサリー

アクティブスピーカー	SRS-Z1000
	SRS-Z750
ヘッドホン	MDR-E888LP
	MDR-F1
	MDR-DS5100
デジタルコード	POC-5/10/15AB
	POC-5/10/15B
ヘッドホン延長コード	RK-G111S
液晶クリーニングキット	KK-LC1

** JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CE 本体の CE マークは EU 加盟国で販売されている製品にのみ有効です。

言語コード一覧表

詳しくは 47、53、70 ページをご覧ください。
言語名表記は ISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian

コード	言語
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori

コード	言語
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan) Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian

コード	言語
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

設定画面項目一覧表

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

言語設定（70 ページ）

画面表示言語	日本語 ENGLISH
メニュー言語	日本語 英語 中国語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 スペイン語 ポルトガル語 オランダ語 デンマーク語 スウェーデン語 フィンランド語 ノルウェー語 ロシア語 その他 →
音声言語	オリジナル （その他の項目は「メニュー言語」と同じ）
字幕言語	日本語 音声連動 （その他の項目は「メニュー言語」と同じ）

視聴設定（71 ページ）

TV タイプ	16:9 ワイド 4:3 レターボックス 4:3 パンスキャン	
視聴年齢制限 →		
アングルマーク	入 切	
オーディオ DRC	スタンダード テレビ ワイドレンジ	
音声デジタル出力	ドルビーデジタル	ダウンミックス PCM ドルビーデジタル
	DTS	切 入

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット／数字順

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed In Japan

VOC（揮発性有機化合物）1% 以下植物油インキ使用